

本庁共通
(表紙)

平成24年度決算に係る

定期監査調査 決算審査調査調書

平成25年8月

福祉保健部健康医療局健康政策課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	決算調書（総括表）	2 1 頁
8	事業別実施状況調べ	2 2 頁
9	予備費の充用調べ	3 8 頁
10	繰越関係調べ	3 9 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	3 9 頁
12	収入事務処理状況調べ	4 0 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	4 2 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	4 2 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	4 2 頁
16	債務負担行為の状況調べ	4 2 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	4 3 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	5 7 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	5 7 頁
19	財産に関する調べ	5 8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	6 2 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	
21	借受不動産明細調べ	6 4 頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	6 4 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	6 4 頁
24	寄附物件の受納状況調べ	6 4 頁
25	備品の処分状況調べ	6 4 頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	6 4 頁
27	貸付金等状況調べ	6 4 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	6 4 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
健康医療局健康政策課	がん・生活習慣病対策室	(1) がん対策に関すること (2) 生活習慣病の対策に関すること (3) 難病に関すること
	健康づくり文化創造担当	(4) 健康増進対策に関すること (5) 自殺対策に関すること (6) 栄養の改善及び指導に関すること
	感染症・新型インフルエンザ対策室	(7) 新型インフルエンザ対策に関すること (8) 感染症(結核を含む)その他の疾病の予防に関すること (9) ハンセン病に関すること

4 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	25.4.1 現在	24.4.1 現在	25.4.1 現在	24.4.1 現在	25.4.1 現在	24.4.1 現在	25.4.1 現在	24.4.1 現在	
定員	10	10	9	9	0	0	19	19	
現員	(0) 1.2	(1) 1.2	(0) 7	(0) 8	(0) 0	(0) 0	(0) 1.9	(1) 2.0	※H24:事務1(介護休暇)
過不足(△)	2	2	△2	△1	0	0	0	0	※事務振替2
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	4	4	0	0	0	0	4	4	※事務職4名

5 役付職員の調べ

(平成25年8月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
健康医療局長	藤井 秀樹	年 月 2 1	福祉保健部次長(1年0月) 医療政策監(2年3月)
課長	細川 淳	0 4	
がん・生活習慣病対策室長	村上 健一	0 4	
感染症・新型インフルエンザ対策室長	住田 剛彦	0 4	
課長補佐	萬井 実	2 1	
課長補佐	下田 耕作	1 4	健康政策課副主幹(4年0月)
課長補佐	長岡 孝	2 4	
課長補佐	藤井 洋子	3 4	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																												
<p>鳥取県ワクチン接種緊急促進基金事業</p> <p>決算額 247,277千円 (財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 0千円 その他 247,277千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 国の交付金により新たに創設した「鳥取県ワクチン接種緊急促進基金」を活用して子宮頸がん予防（HPV）ワクチン、ヒブ（インフルエンザb型）ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて、ワクチン接種緊急促進事業を行う市町村へ補助する。 (事業実施期間：平成22～24年度)</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) ワクチンごとに定められた対象者について、市町村が軽減措置を行う。</p> <table border="1" data-bbox="395 651 1386 1084"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>対象年齢</th> <th>接種回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん (HPV) 予防ワクチン</td> <td>13～16歳</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>ヒブ (インフルエンザb型) ワクチン</td> <td>0～4歳</td> <td>(初回接種年齢) 2ヶ月以上7ヶ月未満：4回 7ヶ月以上12ヶ月未満：3回 12ヶ月以上5歳未満：1回</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌ワクチン</td> <td>0～4歳</td> <td>(初回接種年齢) 2ヶ月以上7ヶ月未満：4回 7ヶ月以上12ヶ月未満：3回 12ヶ月以上24ヶ月未満：2回 24ヶ月以上5歳未満：1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県は市町村に対し、ワクチン接種緊急促進事業及び事務費に要する経費の1/2を補助する。(「鳥取県ワクチン接種緊急促進基金」の取り崩しにより支出)</p> <p>(3) 補助基準額については、国が定めた算定式により算出する。 ・子宮頸がんワクチン 15,939円×0.9×延べ接種回数 ・ヒブワクチン 8,852円×0.9×延べ接種回数 ・小児用肺炎球菌ワクチン 11,267円×0.9×延べ接種回数</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 国交付金事業として、当初、平成23年度までの事業であったが、子宮頸がんワクチン等の定期接種化の結論が出ておらず、市町村が引き続き接種を実施できるようにするため、平成24年度まで事業が延長された。</p> <p>ウ 成 果 当助成事業によりワクチン接種が促進され、感染拡大の防止に資することとなった。</p> <p>ワクチン接種実績 (H24年度接種分)：接種率は接種者数/H24年10月1日現在推計人口)</p> <table border="1" data-bbox="395 1666 1415 1899"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>延べ接種回数</th> <th>接種者数</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん (HPV) 予防ワクチン</td> <td>9,457回</td> <td>2,930人</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>ヒブ (インフルエンザb型) ワクチン</td> <td>19,107回</td> <td>6,652人</td> <td>28.1%</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌ワクチン</td> <td>20,212回</td> <td>6,922人</td> <td>29.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※H24年度分</p> <p>エ 課 題 ワクチン接種緊急促進事業は平成24年度で終了し、これらのワクチンは定期接種へ移行したが、定期接種の事業主体である市町村が接種対象者、医療機関に対して必要な事項を周知できるよう、県は国、市町村と連携して取り組む必要がある。</p>	区 分	対象年齢	接種回数	子宮頸がん (HPV) 予防ワクチン	13～16歳	3回	ヒブ (インフルエンザb型) ワクチン	0～4歳	(初回接種年齢) 2ヶ月以上7ヶ月未満：4回 7ヶ月以上12ヶ月未満：3回 12ヶ月以上5歳未満：1回	小児用肺炎球菌ワクチン	0～4歳	(初回接種年齢) 2ヶ月以上7ヶ月未満：4回 7ヶ月以上12ヶ月未満：3回 12ヶ月以上24ヶ月未満：2回 24ヶ月以上5歳未満：1回	区 分	延べ接種回数	接種者数	接種率	子宮頸がん (HPV) 予防ワクチン	9,457回	2,930人	27.2%	ヒブ (インフルエンザb型) ワクチン	19,107回	6,652人	28.1%	小児用肺炎球菌ワクチン	20,212回	6,922人	29.3%	
区 分	対象年齢	接種回数																												
子宮頸がん (HPV) 予防ワクチン	13～16歳	3回																												
ヒブ (インフルエンザb型) ワクチン	0～4歳	(初回接種年齢) 2ヶ月以上7ヶ月未満：4回 7ヶ月以上12ヶ月未満：3回 12ヶ月以上5歳未満：1回																												
小児用肺炎球菌ワクチン	0～4歳	(初回接種年齢) 2ヶ月以上7ヶ月未満：4回 7ヶ月以上12ヶ月未満：3回 12ヶ月以上24ヶ月未満：2回 24ヶ月以上5歳未満：1回																												
区 分	延べ接種回数	接種者数	接種率																											
子宮頸がん (HPV) 予防ワクチン	9,457回	2,930人	27.2%																											
ヒブ (インフルエンザb型) ワクチン	19,107回	6,652人	28.1%																											
小児用肺炎球菌ワクチン	20,212回	6,922人	29.3%																											

事業名	概	要												
<p>ココカラげんき鳥取県推進事業</p> <p>決算額 14,177千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 280千円 一般財源 13,868千円 その他 29千円</p> <p>○将来ビジョン V支え合う (4)「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造</p> <p>○政策項目 Ⅲ暮らしに安心 ⑧-2 生活習慣病対策の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県民一人ひとりが健康づくりの大切さを認識し、日常的に、地域全体で良い生活習慣を实践しようという機運を盛り上げ、世代を超えて受け継がれていく「健康づくり文化」の創造へ繋げる。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>普及啓発 ○とっとり健康家族ポータルサイトの開設事業 県民に、健康づくりについて関心をもってもらうことができるよう、健康情報について、身近に学び、知り、更に、サイトに入って様々な機能を楽しんでもらえるサイト「とっとり健康家族ポータルサイト」を構築した。 【ポータルサイトの概要】 (1) 名称 とっとり健康家族ポータルサイト (2) 構築業務委託先 アイコンヤマト株式会社 (3) 構築・保守管理業務期間 平成24年12月3日～平成25年3月31日 (4) 開発・保守管理業務経費 3,171,000円 (5) ポータルサイトの特徴 ①えるざとげんきトリピーによる健康ブログの発信 ②健康づくり応援施設(団)の検索機能と独自紹介ページの掲載 ③簡易の健康診断及び健診結果の経年推移状況のグラフ表示 ④とりっぽ(歩)「19市町村推奨コース」の360度パノラマ動画</p> <p>○「健康づくり文化」推進事業 「健康づくり文化」を県民に定着させるため、様々な広報・啓発活動を展開した。 (1) とっとり健康づくり大使佐々木えるざさんによるPR 特にPR効果の高い県内のウォーキング大会(5大会)に参加、出演してもらい、本県の健康づくりの取組をPRした。 (2) ユウトの19のまちを歩きます事業 鳥取に住みます芸人ユウトさんに19のまちを歩こう事業の19市町村の全19大会に出てもらい、本県の健康づくりの取組をPRした。 (3) 「ココカラげんき鳥取県」ミニのぼり等啓発媒体の作成</p> <p>○禁煙推進事業 世界禁煙デー協賛事業の実施等(県機関一日禁煙デー他)</p> <p>○健康づくり応援施設(団)支援事業 「運動」「食事」「禁煙」について積極的に取組を行っている施設、団体等を「健康づくり応援施設(団)」として認定し、その取組を広く情報発信し、県民の健康づくりに取り組める環境整備を推進した。</p> <p>【平成24年度末現在の状況】 (単位:施設)</p> <table border="1" data-bbox="587 1496 1193 1585"> <thead> <tr> <th></th> <th>運動</th> <th>食事</th> <th>禁煙</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定施設</td> <td>28</td> <td>164</td> <td>1,306</td> </tr> <tr> <td>認定団</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※禁煙分野のうち敷地内禁煙の施設: 314施設</p> <p>○職員人件費(東・中・西部福祉保健局非常勤職員各1名) 健康づくり文化創造事業の普及啓発</p>		運動	食事	禁煙	認定施設	28	164	1,306	認定団	7	1	1	<p>推進体制整備 ○健康づくり文化創造推進県民会議 本県が目指す「健康づくり文化」の推進のため、具体的な施策を検討・推進していくため、県民会議を開催したほか、平成24年度で終期を迎える「健康づくり文化創造プラン」及び「食のみやことっとり～食育プラン～」について、それぞれの専門会議の中で、次期プランの内容について協議した。 ①健康づくり文化創造推進県民会議の開催(1回開催) 【主な構成団体】 職 域: 商工会連合会、連合鳥取等 専 門: 健康運動指導士会、医師会等 関係団体: PTA協議会、連合婦人会 学 識: 鳥大、鳥取短大 ②専門会議の開催 ・次期健康づくり文化創造プラン策定専門会議(3回開催) ・健康を支える食文化専門会議(4回開催)</p>
	運動	食事	禁煙											
認定施設	28	164	1,306											
認定団	7	1	1											

事業名	概要
	<p>イ 平成24年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとり健康家族ポータルサイトの開設事業 県民に、健康づくりについて関心をもってもらうことができるよう、ただ単にサイトを一度見て終わりというのではなく、何度でも入って、健康情報を身近なものとして学び、知ってもらうことで、健康づくりの実践に役立ててもらえるようなサイトづくりに努めた。 ・「健康づくり文化」推進事業 「健康づくり文化」の県民への定着を目指し、“人を集める”ではなく、“人が集まる”場所でのPRに視点を換え、また、マスコミなどにも取り上げられやすい話題性のある内容となるよう工夫しながら、実施した。 ・健康づくり応援施設（団）の認定 禁煙分野のうち敷地内禁煙の区分を新たに新設し、更なる受動喫煙防止に向けた取組を行った。 また、健康づくり応援施設（団）は鳥取県の健康づくりの情報発信に協力することとされているため、健康づくり応援施設（団）を有効に活用し、情報発信にも努めた。 ・健康づくり文化創造推進県民会議 平成25年度からの「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第二次）」の策定を行うにあたり、必要最小限の関係者で効率よく議論を重ねていくため、県民会議とは別に、県民会議に属する専門の会議として、次期健康づくり文化創造プラン策定専門会議を新たに設置し、議論を行った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとり健康家族ポータルサイトの開設事業 健康ブログや、健診データの活用機能など、概ね、当初の計画どおりのポータルサイトと仕上がり、県民に健康づくりに関心をもってもらえそうなサイトとして仕上げる事ができた。 さらに、プロポーザルの実施により、「とりっぼ（歩）360度パノラマ動画」といったおもしろい提案も採用され、ポータルサイトだけでなく、「とりっぼ（歩）」の利用拡大にも繋がるようなサイトとして仕上がった。 ・「健康づくり文化」推進事業 健康づくり大使である佐々木えるざさんに県内で開催される主要なウォーキング大会で、健康づくりの重要性などについて普及啓発していただき、会場内の多くの人から関心を持って聞いてもらえるなど、一定の成果が見られた。 また、並行して実施した鳥取に住みます芸人ユウトさんによる「ユウトの19のまちを歩きます事業」は、ユウトさん自身も19のまちを完歩したことで、マスコミにも取り上げられ、話題性のある取組となった。 ・健康づくり応援施設（団）の推進 敷地内禁煙の施設が、314施設に拡大。 また、ココカラげんき鳥取県ミニのぼりやとりっぼ（歩）ガイドブックなどを健康づくり応援施設（団）を通じ配布・掲示してもらえ、効果的なPRに繋がった。 ・健康づくり文化創造推進県民会議 平成25年度からの新計画として、次期健康づくり文化創造プラン策定専門会議において、「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第二次）」を、健康を支える食文化専門会議において、「食のみやことっとり～食育プラン～」を、具体性のあるプランとして策定することができた。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康づくり文化」の創造は、一朝一夕に達成できるものではなく、県民一人ひとりの理解とそれに基づいた実践が必要である。具体的には、適度な運動とバランスの取れた適量の食事を意識した日々の健康づくりの習慣を身に付けて達成されるものであり、そのためには地道にはあるが、引き続き普及啓発を行っていき、「健康づくり文化」を県民の生活の中に浸透させていくことが必要である。 ・また、働き盛り世代に仕事への負担が増加している中、本県においても定期健康診断の有所見率が増加傾向にあるなど、職場における健康管理の重要性が年々高まってきた。平成25年4月に改定した「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第二次）」に基づき、働き盛り世代の健康管理対策を十分に行っていく必要がある。

事業名	概	要																
<p>ウォーキング立県 とっとり事業</p> <p>決算額 10,663千円 (財源内訳) 国庫支出金 0千円 一般財源 10,663千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン V支え合う (4)「あんしん医療 体制」構築と「健康 づくり文化」の創造</p> <p>○政策項目 Ⅲ暮らしに安心 ⑧-2 生活習慣病対 策の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県民の運動習慣を定着させるため、誰でも手軽に取り組める運動としてウォーキングを普及させ、県民が日常的にウォーキングに取り組む「ウォーキング立県」を目指す。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>日常生活ウォーキングの普及事業</p> <p>ウォーキング立県推進事業補助金</p> <p>ウォーキング立県19のまちを歩こう事業</p>	<p>平成23年度事業で構築した鳥取県ケータイで健康づくりウォーキングシステム「とりっぼ(歩)」を効果的に活用し、更なるウォーキングの普及と日常的な運動習慣の定着を図った。</p> <p>【実施内容】</p> <p>(1) ケータイで健康づくりウォーキング記念大会開催 「とりっぼ(歩)」の運用開始を広く周知するため、実際にシステムに登録されたコースを歩きながらシステム利用の体験ができる記念大会を開催。 ①時 期：平成24年4月28日 ②場 所：湯梨浜町東郷湖周辺 ③参加人数：約200人</p> <p>(2) とりっぼ(歩)ガイドブック(3万部)等の作成 「とりっぼ(歩)」に登録されたコースのうち、各市町村を代表するコースをガイドブックとしてまとめ、健康づくり応援施設等で配布。</p> <p>(3) システム運営委託 記念品発送、利用者対応等の事務を「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業実行委員会」に委託</p> <p>(4) システム保守管理委託 システムの保守管理をシステム構築業者に委託 ※とりっぼ(歩)の会員登録者数：H23年度末で約700人</p> <p>ウォーキングしやすい環境づくりのため、ウォーキング大会を新規・拡充して開催する団体や市町村にウォーキング大会の開催経費を補助した。 ・新規大会：補助率1/2、上限250,000円 ・拡充大会：補助率1/2、上限100,000円</p> <p>【交付実績】</p> <p>・新規大会(補助額計：966,000円) 初めてのノルディック・ウォーク大会in岩美(申請者：全日本ノルディックウォーク連盟鳥取県東部推進委員会)など、計6件、</p> <p>・拡充大会(補助額計：40,000円) 第1回境港さかな・妖怪ウォーク(申請者：境港さかな・妖怪ウォーク実行委員会)など計2件</p> <p>県民がウォーキングに取り組むきっかけづくりとして、実行委員会が認定する県内のウォーキング大会に参加し、3ポイント又は5ポイント集め応募した者に認定証を進呈するとともに、年2回の締め切り日ごとに抽選で県産品を贈呈する取組を実施した。</p> <p>【実施概要】</p> <p>(1) 実施方法 関係団体代表者で構成する「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業実行委員会」に委託して実施。(実行委員会は年2回開催。)</p> <p>(2) 実施期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日</p> <p>(3) 認定大会 52大会</p> <p>(4) パスポート・ポイントシールの配布 パスポート 約8,500部 ポイントシール 約9,000枚</p> <p>(5) 応募・抽選状況</p> <table border="1" data-bbox="810 1935 1433 2056"> <thead> <tr> <th></th> <th>3ポイント</th> <th>5ポイント</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一次締め切り</td> <td>8(40)</td> <td>128(50)</td> <td>136(90)</td> </tr> <tr> <td>二次締め切り</td> <td>31(40)</td> <td>63(50)</td> <td>94(90)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>39(80)</td> <td>191(100)</td> <td>230(180)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は当選枠 ※当選枠を超えたものについては抽選を実施</p>		3ポイント	5ポイント	計	一次締め切り	8(40)	128(50)	136(90)	二次締め切り	31(40)	63(50)	94(90)	計	39(80)	191(100)	230(180)
	3ポイント	5ポイント	計															
一次締め切り	8(40)	128(50)	136(90)															
二次締め切り	31(40)	63(50)	94(90)															
計	39(80)	191(100)	230(180)															

事業名	概要	要
	<p>イ 平成24年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活ウォーキングの普及事業 鳥取県ケータイで健康づくりウォーキングシステム「とりっぼ(歩)」の運用初年度ということもあり、多くの県民にとりっぼ(歩)のことを知ってもらえるよう様々なツールや県内ウォーキング大会を通じての広報に努めた。 また、年度後半は会員登録が伸び悩んできたため、県政アンケートを実施したり、関係者と意見交換を重ねるなど、今後の周知、普及方法を検討した。 ウォーキング立県19のまちを歩こう事業 ココカラげんき鳥取県推進事業を活用し、鳥取に住みます芸人ユウトさんによる「ユウトの19のまちを歩きます事業」の実施により事業PRに努めた。 また、認定大会を増やしていくため、春先の大会も認定大会としてもらえるよう、年度当初から早めに認定申請の依頼を行うなど努めた。 ウォーキング立県推進事業補助金 「とりっぼ(歩)」の利用拡大に繋がるよう、大会コースを「とりっぼ(歩)」のコースにも登録し、参加者が「とりっぼ(歩)」を使いながら歩ける大会として開催することを補助を受ける条件に加えた。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活ウォーキングの普及事業 とりっぼ(歩)運用開始時には、多くのマスコミに取り上げられ、新聞、テレビとも全社で報道された。また、ケータイで健康づくりウォーキング記念大会では、多くの方の会員登録に繋がり、年度前半で、とりっぼ(歩)会員は大幅に増えた。 また、大会を通じての広報では、「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」認定大会に「とりっぼ(歩)」にコース登録してもらおうよう呼びかけ、その結果、52の認定大会のうち、28大会で「とりっぼ(歩)」を利用体験してもらえる大会として実施できた。 しかしながら、年度後半は、徐々に会員登録に伸び悩み、結果的に、年度末での会員登録者数は約700人とどまった。 ウォーキング立県19のまちを歩こう事業 「ユウトの19のまちを歩きます事業」によりユウトさん自身も19のまちを完歩したことで、マスコミにも取り上げられ、19のまちを歩こう事業のよいPRとなった。 また、大会主催者に事業の周知が図られ、認定大会として登録のあった大会は、全部で52大会となり、平成23年度の41大会から増加した。 更に、事業実施が3年目となり、県民に事業が広く周知されるようになり、応募状況も平成23年度の180名から230名へと増加した。 ウォーキング立県推進事業補助金 また、新規大会として本補助金を活用したものは6大会、拡大会としては2大会であり、計8大会で、とりっぼ(歩)へのコース登録と周知に繋がった。 また、平成23年度以前に、本補助金を活用し新規大会を開催してくれた団体で、引き続き大会を開催してくれた団体もあり、平成24年度も引き続き、県内全19市町村での大会開催となった。 <p>エ 課題</p> <p>「とりっぼ(歩)」については、会員数を更に増やしていく取組はもちろん、利用者分析をしたところ、会員になっただけで1度も利用したことがない方が約7割もあり、実際に使ってもらおうと思わせる仕組みづくりや、利用しやすいシステムとなるよう利用者へサポートを行っていくことが必要である。 また、とりっぼ(歩)の記念品対象となる累積歩行距離500km以上を初年度だけで13人も達成。ウォーキングを積極的に取り組む人とそうでない人との差が激しく、「とりっぼ(歩)」は、普段歩いていない人に日常生活でのウォーキングを普及させるためシステムであるので、歩行数が少ない人が使ってみようと思えるような運用を考えていくことも大切である。 ウォーキング大会におけるウォーキングの普及については、平成23年度に続き、平成24年度も県内全市町村でウォーキング大会が開催されたほか、19のまちを歩こう事業が県民に広く周知されてきているなど、県民にウォーキング大会に参加してもらえる仕組みは整いつつある。 いずれにしても、県民の健康づくりの習慣を浸透させていくためには、息の長い継続した取組が重要であり、平成25年度以降も地道に事業に取り組んでいくことが必要である。</p>	

事業名	概	要										
<p>自殺対策緊急強化事業</p> <p>決算額 45,507千円 (財源内訳) 国庫支出金 1,230千円 一般財源 1,593千円 その他 42,684千円</p> <p>○将来ビジョン V互いに認め、支え合う (4) あんしん医療体制の構築と健康づくり文化</p> <p>○政策項目 Ⅲ 暮らしに安心</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 自殺者数が平成10年から連続して3万人を超える中、現下の厳しい経済情勢を踏まえ、追い込まれた人のセーフティネットとして、地域の自殺対策を強化する必要があることから、県民一人ひとりが心の健康に関する正しい知識を理解し、自殺を未然に防止するとともに、自死遺族支援に取り組むため、関係機関と連携し、総合的かつ効果的な自殺対策を推進する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="359 526 518 772">相談窓口の整備</td> <td data-bbox="518 526 1157 772"> <ul style="list-style-type: none"> ○心の健康と暮らしの法律相談会 弁護士会、司法書士会、ハローワーク等の協力で図書館等を会場に相談会を開催した。 回数：13回 延べ相談人数：43人 ○鳥取いのちの電話支援事業 広報活動事業、相談員の確保事業、資質向上のための研修事業、事務所設置事業に助成。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 772 518 1008">特色ある自殺予防対策の推進</td> <td data-bbox="518 772 1157 1008"> <ul style="list-style-type: none"> ○「眠れてますか？睡眠キャンペーン」など各圏域で開催する研修会 各圏域の実情に沿った研修会を実施した。 東部：H25.3.15自殺予防講演会 参加175人 中部：H24.12.14自殺対策従事者研修会 参加50人 西部：H24.9.18西部圏域共同講演会 参加230人 ○自殺対策人形劇派遣事業 市町村等で開催される講演会等に派遣した。 派遣回数：2回 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1008 518 1377">精神医療体制の充実</td> <td data-bbox="518 1008 1157 1377"> <ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医と精神科医との連携会議 【概要】回数：2回 (H24.7.26、H25.3.12) ・かかりつけ医と精神科医におけるさらなる連携強化について協議 ・うつ病に対する医療等の支援体制の強化について協議 ○精神医療関係者等研修 【内容】地域医療における「うつ」を考える 受講者135名 ○かかりつけ医心の健康対応力向上研修 ・うつ病対応力向上研修 修了者46名 (東部28名、中部10名、西部8名) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1377 518 1624">自死遺族へのケア</td> <td data-bbox="518 1377 1157 1624"> <ul style="list-style-type: none"> ○自死遺族の集いの開催 精神保健福祉センター主催で2地域 (鳥取市、米子市) で各6回開催した。 延べ参加者数：41名 ○自死遺族自助グループへの支援 自死遺族自助グループ「コスモスの会」へ活動費や人材養成に係る経費等に助成を行った。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="359 1624 518 2128">自殺予防の普及啓発</td> <td data-bbox="518 1624 1157 2128"> <ul style="list-style-type: none"> ○自殺対策フォーラムの開催 「平成24年度みんなで支えあう地域づくりフォーラム」を開催した。(H24.10.27 県民ふれあい会館ホール) 【概要】講演 (「大切ないのちを守るために」 watari氏)、こころの紙芝居、取組紹介 参加者：約80名 ○自殺予防リーフレット等普及啓発物の作成 ・心の健康への関心を高めるため啓発物を配付した。 (クリアファイル・ポケットティッシュ・リーフレット・ぬいぐるみ、卓上のぼり、卓上カレンダー、エコバッグ等) ・いのちを守る相談窓口一覧 ・自殺対策取組事例集 ○自殺予防の広報 ・JR駅コンコース、JR時刻表、牛乳パック広告、駅前広告塔等に睡眠キャンペーンの広告を掲載した。 </td> </tr> </table>	相談窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○心の健康と暮らしの法律相談会 弁護士会、司法書士会、ハローワーク等の協力で図書館等を会場に相談会を開催した。 回数：13回 延べ相談人数：43人 ○鳥取いのちの電話支援事業 広報活動事業、相談員の確保事業、資質向上のための研修事業、事務所設置事業に助成。 	特色ある自殺予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「眠れてますか？睡眠キャンペーン」など各圏域で開催する研修会 各圏域の実情に沿った研修会を実施した。 東部：H25.3.15自殺予防講演会 参加175人 中部：H24.12.14自殺対策従事者研修会 参加50人 西部：H24.9.18西部圏域共同講演会 参加230人 ○自殺対策人形劇派遣事業 市町村等で開催される講演会等に派遣した。 派遣回数：2回 	精神医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医と精神科医との連携会議 【概要】回数：2回 (H24.7.26、H25.3.12) ・かかりつけ医と精神科医におけるさらなる連携強化について協議 ・うつ病に対する医療等の支援体制の強化について協議 ○精神医療関係者等研修 【内容】地域医療における「うつ」を考える 受講者135名 ○かかりつけ医心の健康対応力向上研修 ・うつ病対応力向上研修 修了者46名 (東部28名、中部10名、西部8名) 	自死遺族へのケア	<ul style="list-style-type: none"> ○自死遺族の集いの開催 精神保健福祉センター主催で2地域 (鳥取市、米子市) で各6回開催した。 延べ参加者数：41名 ○自死遺族自助グループへの支援 自死遺族自助グループ「コスモスの会」へ活動費や人材養成に係る経費等に助成を行った。 	自殺予防の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺対策フォーラムの開催 「平成24年度みんなで支えあう地域づくりフォーラム」を開催した。(H24.10.27 県民ふれあい会館ホール) 【概要】講演 (「大切ないのちを守るために」 watari氏)、こころの紙芝居、取組紹介 参加者：約80名 ○自殺予防リーフレット等普及啓発物の作成 ・心の健康への関心を高めるため啓発物を配付した。 (クリアファイル・ポケットティッシュ・リーフレット・ぬいぐるみ、卓上のぼり、卓上カレンダー、エコバッグ等) ・いのちを守る相談窓口一覧 ・自殺対策取組事例集 ○自殺予防の広報 ・JR駅コンコース、JR時刻表、牛乳パック広告、駅前広告塔等に睡眠キャンペーンの広告を掲載した。 	
相談窓口の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○心の健康と暮らしの法律相談会 弁護士会、司法書士会、ハローワーク等の協力で図書館等を会場に相談会を開催した。 回数：13回 延べ相談人数：43人 ○鳥取いのちの電話支援事業 広報活動事業、相談員の確保事業、資質向上のための研修事業、事務所設置事業に助成。 											
特色ある自殺予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「眠れてますか？睡眠キャンペーン」など各圏域で開催する研修会 各圏域の実情に沿った研修会を実施した。 東部：H25.3.15自殺予防講演会 参加175人 中部：H24.12.14自殺対策従事者研修会 参加50人 西部：H24.9.18西部圏域共同講演会 参加230人 ○自殺対策人形劇派遣事業 市町村等で開催される講演会等に派遣した。 派遣回数：2回 											
精神医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医と精神科医との連携会議 【概要】回数：2回 (H24.7.26、H25.3.12) ・かかりつけ医と精神科医におけるさらなる連携強化について協議 ・うつ病に対する医療等の支援体制の強化について協議 ○精神医療関係者等研修 【内容】地域医療における「うつ」を考える 受講者135名 ○かかりつけ医心の健康対応力向上研修 ・うつ病対応力向上研修 修了者46名 (東部28名、中部10名、西部8名) 											
自死遺族へのケア	<ul style="list-style-type: none"> ○自死遺族の集いの開催 精神保健福祉センター主催で2地域 (鳥取市、米子市) で各6回開催した。 延べ参加者数：41名 ○自死遺族自助グループへの支援 自死遺族自助グループ「コスモスの会」へ活動費や人材養成に係る経費等に助成を行った。 											
自殺予防の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○自殺対策フォーラムの開催 「平成24年度みんなで支えあう地域づくりフォーラム」を開催した。(H24.10.27 県民ふれあい会館ホール) 【概要】講演 (「大切ないのちを守るために」 watari氏)、こころの紙芝居、取組紹介 参加者：約80名 ○自殺予防リーフレット等普及啓発物の作成 ・心の健康への関心を高めるため啓発物を配付した。 (クリアファイル・ポケットティッシュ・リーフレット・ぬいぐるみ、卓上のぼり、卓上カレンダー、エコバッグ等) ・いのちを守る相談窓口一覧 ・自殺対策取組事例集 ○自殺予防の広報 ・JR駅コンコース、JR時刻表、牛乳パック広告、駅前広告塔等に睡眠キャンペーンの広告を掲載した。 											

事業名	概要	要
	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間（H24.9.10～16）、対策月間（3月）にあわせて新聞広告を掲載した。 ○非常勤職員の配置 本庁及び福祉保健局（東・中・西部）に非常勤職員を各1名配置した。 	
自殺予防 県民運動 の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲートキーパー養成研修 各総合事務所福祉保健局 19回 参加人数1,186人 ○ゲートキーパー養成指導者研修 精神保健福祉センター実施 3回 69人 ○心といのちを守る県民運動の運営 2回（H24.10.10、H25.2.4） 鳥取県の自殺対策や各団体での自殺対策の取組みについての課題などを協議し、それを各団体において地域で自殺対策を推進している。 ○市町村自殺対策緊急強化交付金 自殺対策事業に対する市町村への助成。17市町村。 <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠を切り口とし、うつ病予防や自殺予防を特色のある自殺対策として眠れてますか？キャンペーンを推進した。 ・圏域別に地域の実情に応じた研修会や講演会を開催した。 ・悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、見守る人であるゲートキーパーを養成する研修を開催した。ゲートキーパー研修用の相談対応の手引きを作成し研修で活用した。 ・相談窓口の一覧や県内のうつ病診療医療機関の一覧を示し、誰もが活用できるようちらしや広報物などに案内すると同時に、QRコードを掲載し携帯電話で相談窓口を読みとれるよう工夫した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眠れてますか？睡眠キャンペーンのキャラクター「スーミン」を作成し、啓発物などに活用している。また、19市町村のご当地スーミンもデザインし、各市町村の啓発において活用し、身近なものとして浸透しつつある。 ・市町村で心の健康やうつ病対策、自殺対策事業に関する独自の取組がひろがっている。 ・漫画をリーフレット等に使用して啓発することで、幅広い世代への正しい知識の普及に役立った。 ・ゲートキーパー養成研修では、多くの方の受講があった。 ・県内のうつ病診療医療機関のとりまとめをし、公開することで、医療機関に早期につなげる機会をふやした。（29機関） ・自殺者数は、平成22年178人、平成23年166人、平成24年130人と減少している。（鳥取県警察統計）。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県における平成24年自殺者数は130人（鳥取県警察統計）で前年と比較し減少しているが、引き続き自殺対策施策を進めていく必要がある。 ・若者世代、働き世代、高齢者など世代別の対策も考慮しながら推進していく必要がある。 ・ゲートキーパーの養成等により人材養成に重点を置くとともに、地域での取組体制を整備しておく。 ・自死遺族支援においては、自死遺族の自助グループが自立しつつあるところだが、支援を継続する必要がある。 	

事業名	概	要								
<p>食育地域ネットワーク強化事業</p> <p>決算額 2,483千円 (財源内訳) 国庫支出金 38千円 一般財源 2,445千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン V 支え合う (4)「安心医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造 VI 育む (2-4) 家庭・地域の教育力を確立し、地域社会を支える「人財」を「地域循環型」教育の推進</p> <p>○政策項目 II 人権、福祉、環境 先進県チーム 020 メタボリック症候群防止対策、ガン診療体制の充実など、県民の健康を支える地域づくりを推進し、生活習慣病による死亡率の全国水準を目標とした減少へ努力</p> <p>III 教育文化振興・子育て支援チーム 100 食農教育・食育など、食と健康等に関する学習機会の充実</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県民一人ひとりが食の大切さを認識し、健全な食生活を実践する知恵と習慣を身につけるために、食育活動を末永く地域に根付かせていく(食育活動の地域への定着)。食育活動が、今後も継続され充実していくよう、食育実践者同士のネットワークづくり、指導者の育成を行う(食育実践者同士のネットワーク強化、指導者育成)</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="438 510 1465 1697"> <tr> <td data-bbox="438 510 802 801">食育推進活動知事表彰</td> <td data-bbox="802 510 1465 801"> <p>食育に携わる者に希望を与え、食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図るため、特に地域の特性を活かし、積極的に取り組んでいる活動を知事が表彰した。また、受賞団体の活動を紹介する事例集を作成し、関係機関や県民に食育の活動事例を周知した。 〔推薦件数〕 20件(19団体) *推薦は、自薦・他薦を問わない。 〔表彰件数〕 4件(4団体) 〔表彰式〕 25年1月28日(月) 県庁第4応接室</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 801 802 1120">幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業</td> <td data-bbox="802 801 1465 1120"> <p>幼児主体の体験を重視した食育を推進するため、24年度に作成した「幼児の心と体を育むクッキング活動指導の手引き」を活用して指導者研修会を開催するとともに、保育園や幼稚園においてモデル事業を実施した。 〔指導者研修会(7回延べ参加者126名)〕 講話「子どもの発達と食育」 演習「指導の手引きの実践方法」 グループワーク・意見交換 〔モデル事業(4施設、5回)〕</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1120 802 1518">食育推進ネットワーク交流会</td> <td data-bbox="802 1120 1465 1518"> <p>様々な実践者によって主体的に行われている食育活動が、今後も継続され、充実していくよう、食育実践者同士の情報共有、ネットワーク強化を図るため、ネットワーク交流会を開催した(延べ参加者310名) 〔東部〕講演「『食』で『育む』いきる力」 キッズキッチン協会 坂本廣子氏 活動発表、活動紹介(展示) 〔中部〕講演「心を育てる・癒す・食卓」 聖徳大学児童学部 室田洋子氏 活動紹介、取組紹介(展示) 〔西部〕講演「未来につながる食育のすすめ」 キッズキッチン協会 坂本廣子氏 活動発表展示及び意見交換</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1518 802 1697">食育推進会議(健康を支える食文化専門会議)</td> <td data-bbox="802 1518 1465 1697"> <p>食育に関わる関係団体の代表による連携会議を開催した。24年度までの5年間の食育プランの取組を評価し、25年度からの新しい食育プラン作成のために協議を行った。 〔委員〕12名 〔開催回数〕4回</p> </td> </tr> </table>	食育推進活動知事表彰	<p>食育に携わる者に希望を与え、食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図るため、特に地域の特性を活かし、積極的に取り組んでいる活動を知事が表彰した。また、受賞団体の活動を紹介する事例集を作成し、関係機関や県民に食育の活動事例を周知した。 〔推薦件数〕 20件(19団体) *推薦は、自薦・他薦を問わない。 〔表彰件数〕 4件(4団体) 〔表彰式〕 25年1月28日(月) 県庁第4応接室</p>	幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業	<p>幼児主体の体験を重視した食育を推進するため、24年度に作成した「幼児の心と体を育むクッキング活動指導の手引き」を活用して指導者研修会を開催するとともに、保育園や幼稚園においてモデル事業を実施した。 〔指導者研修会(7回延べ参加者126名)〕 講話「子どもの発達と食育」 演習「指導の手引きの実践方法」 グループワーク・意見交換 〔モデル事業(4施設、5回)〕</p>	食育推進ネットワーク交流会	<p>様々な実践者によって主体的に行われている食育活動が、今後も継続され、充実していくよう、食育実践者同士の情報共有、ネットワーク強化を図るため、ネットワーク交流会を開催した(延べ参加者310名) 〔東部〕講演「『食』で『育む』いきる力」 キッズキッチン協会 坂本廣子氏 活動発表、活動紹介(展示) 〔中部〕講演「心を育てる・癒す・食卓」 聖徳大学児童学部 室田洋子氏 活動紹介、取組紹介(展示) 〔西部〕講演「未来につながる食育のすすめ」 キッズキッチン協会 坂本廣子氏 活動発表展示及び意見交換</p>	食育推進会議(健康を支える食文化専門会議)	<p>食育に関わる関係団体の代表による連携会議を開催した。24年度までの5年間の食育プランの取組を評価し、25年度からの新しい食育プラン作成のために協議を行った。 〔委員〕12名 〔開催回数〕4回</p>	<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>23年度事業棚卸しの評価結果及び総括意見を踏まえ、食育活動の現状分析・課題整理を行い県としての役割を整理したうえで、既存事業を見直し、県内の食育活動を支援するための取組を行うこととした。</p> <p>○23年度事業棚卸しについて (評価結果) 廃止 (総括)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育を推進していくことは必要。 ・市町村・団体などが活動している中で、県としてどのように活動するのか抜本的に見直していくことが必要。 ・特に、食育レポート活動事業は県が実施すべき事業なのか、外食栄養成分表示拡大事業は効果性に疑問。
食育推進活動知事表彰	<p>食育に携わる者に希望を与え、食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図るため、特に地域の特性を活かし、積極的に取り組んでいる活動を知事が表彰した。また、受賞団体の活動を紹介する事例集を作成し、関係機関や県民に食育の活動事例を周知した。 〔推薦件数〕 20件(19団体) *推薦は、自薦・他薦を問わない。 〔表彰件数〕 4件(4団体) 〔表彰式〕 25年1月28日(月) 県庁第4応接室</p>									
幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業	<p>幼児主体の体験を重視した食育を推進するため、24年度に作成した「幼児の心と体を育むクッキング活動指導の手引き」を活用して指導者研修会を開催するとともに、保育園や幼稚園においてモデル事業を実施した。 〔指導者研修会(7回延べ参加者126名)〕 講話「子どもの発達と食育」 演習「指導の手引きの実践方法」 グループワーク・意見交換 〔モデル事業(4施設、5回)〕</p>									
食育推進ネットワーク交流会	<p>様々な実践者によって主体的に行われている食育活動が、今後も継続され、充実していくよう、食育実践者同士の情報共有、ネットワーク強化を図るため、ネットワーク交流会を開催した(延べ参加者310名) 〔東部〕講演「『食』で『育む』いきる力」 キッズキッチン協会 坂本廣子氏 活動発表、活動紹介(展示) 〔中部〕講演「心を育てる・癒す・食卓」 聖徳大学児童学部 室田洋子氏 活動紹介、取組紹介(展示) 〔西部〕講演「未来につながる食育のすすめ」 キッズキッチン協会 坂本廣子氏 活動発表展示及び意見交換</p>									
食育推進会議(健康を支える食文化専門会議)	<p>食育に関わる関係団体の代表による連携会議を開催した。24年度までの5年間の食育プランの取組を評価し、25年度からの新しい食育プラン作成のために協議を行った。 〔委員〕12名 〔開催回数〕4回</p>									

事業名	概要
	<p>○事業棚卸しを踏まえて整理した食育に対する県関与のあり方 〔基本方針〕 市町村、地域が行う活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が行う食育活動指導者の育成（体制づくり） ・各団体・地域のネットワークづくり ・食育に関する情報提供 <p>ウ 成果</p> <p>○食育推進活動知事表彰 受賞団体からは、今後の活動の励みになった、さらに活動がんばりたいという声があり、活動の継続や充実が期待できる。 表彰事例集や、表彰式の様子が新聞等に掲載されたことで、県民へ活動の様子を伝えることができた。 推薦候補の選定を自薦他薦を問わず公募としたことで、地域で地道に取り組まれている活動の様子を把握できた。</p> <p>○幼児の心と体を育てるクッキング活動実践モデル事業 研修会では、指導方法や子どもへの声かけの仕方を具体的な実践場面を想定して演習やグループワークを行ったことで細かな対応ポイントを実践と結びつけて理解してもらうことができた。 保育園の園児を対象に実践を希望する施設をモデル施設として、事前準備や保育園内での打合せなど、保育園の実情に応じたクッキング活動を行ったことで、給食担当者だけでなく保育士の食育に対する理解を深めるとともに、日常の保育とのつながりを重視したクッキングの実施に向けて支援することができた。</p> <p>○食育推進ネットワーク交流会 交流会参加者からは、自分の職域で生かしていくためのヒントとなった、実際にすぐやりたいことばかりだった、との感想が聞かれた。今後、交流会での学びや気付きを活動に取り入れてもらうことが期待できる。 また、地域団体の活動紹介に対しては、地域で活動する団体があることを初めて知った、連携して取り組みたいという声もあり、関係者がお互いの活動を理解することができた。</p> <p>○食育推進会議（健康を支える食文化専門会議） 食育に関わる関係機関の協力を得て、平成25年3月に「食のみやことっとり～食育プラン～（H25～29）」を作成することができた。</p> <p>エ 課題</p> <p>県内の食育実践団体からは、活動事例の紹介、情報交換会や研修会の開催等を望む声があり、これらの地域の要請に応え、県内の食育活動の継続を支援するためにも、今後も継続して関係者の取組の支援を行う必要がある。</p>

事業名	概	要																																		
がん対策推進事業 決算額 102,496千円 (財源内訳) 国庫支出金 50,586千円 一般財源 51,872千円 その他 38千円 ○将来ビジョン V支え合う (4)「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造 III 暮らしに安心	1. がん診療拠点病院機能強化事業 ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 鳥取県の平成23年度のがん死亡者数は、2,016人であり、本県全死亡者の約3割を占めており、昭和57年以来、死因の第1位である。がん診療の中心的役割を担う「地域がん診療連携拠点病院」の機能強化を目的とした補助金を交付し、地域のがん診療連携を促進するとともに、質の高いがん医療の提供体制の確立を図った。 (イ) 事業の実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機関名</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立中央病院</td> <td>20,959,000</td> <td>20,959,000</td> <td rowspan="3">10/10 (国1/2, 県1/2)</td> </tr> <tr> <td>県立厚生病院</td> <td>9,211,162</td> <td>9,362,000</td> </tr> <tr> <td>鳥取市立病院</td> <td>17,992,400</td> <td>18,572,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48,162,562</td> <td>48,893,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>県立中央病院</th> <th>県立厚生病院</th> <th>鳥取市立病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん医療従事者研修事業</td> <td>・緩和ケア研修 15人 ・がん診療研修5回 延べ373人</td> <td>・緩和ケア研修 14人 ・がん診療研修6回 延べ 474人</td> <td>・緩和ケア研修 15人 ・がん診療研修会5回 260人</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録促進事業</td> <td>・登録件数 791件</td> <td>・登録件数 598件</td> <td>・登録件数 752件</td> </tr> <tr> <td>がん相談支援事業</td> <td>・相談件数 電話 784件 面談 2,879件 ・セカンドオピニオン紹介 50件</td> <td>・相談件数 電話 293件 面談 379件 ・セカンドオピニオン紹介 7件</td> <td>・相談件数 電話 258件 面談等 1,123件 ・セカンドオピニオン紹介 48件</td> </tr> </tbody> </table> イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし。(平成21年に補助限度額を増額 13,000千円→22,000千円) ウ 成果 がん医療に従事する医師等の資質向上のための研修をはじめ、がん罹患率や治療における正確なデータを把握するための院内がん登録、がん患者や家族等に対する相談支援やセカンドオピニオン医師の紹介等、がん診療拠点病院としての機能を強化した。 エ 課題 各医療圏のがん診療の拠点として、その他医療機関との連携を図り、緩和ケアを含めたさらなるがん医療の推進を図る必要がある。	医療機関名	事業費	補助金額	補助率	県立中央病院	20,959,000	20,959,000	10/10 (国1/2, 県1/2)	県立厚生病院	9,211,162	9,362,000	鳥取市立病院	17,992,400	18,572,000	計	48,162,562	48,893,000		区分	県立中央病院	県立厚生病院	鳥取市立病院	がん医療従事者研修事業	・緩和ケア研修 15人 ・がん診療研修5回 延べ373人	・緩和ケア研修 14人 ・がん診療研修6回 延べ 474人	・緩和ケア研修 15人 ・がん診療研修会5回 260人	院内がん登録促進事業	・登録件数 791件	・登録件数 598件	・登録件数 752件	がん相談支援事業	・相談件数 電話 784件 面談 2,879件 ・セカンドオピニオン紹介 50件	・相談件数 電話 293件 面談 379件 ・セカンドオピニオン紹介 7件	・相談件数 電話 258件 面談等 1,123件 ・セカンドオピニオン紹介 48件
医療機関名	事業費	補助金額	補助率																																	
県立中央病院	20,959,000	20,959,000	10/10 (国1/2, 県1/2)																																	
県立厚生病院	9,211,162	9,362,000																																		
鳥取市立病院	17,992,400	18,572,000																																		
計	48,162,562	48,893,000																																		
区分	県立中央病院	県立厚生病院	鳥取市立病院																																	
がん医療従事者研修事業	・緩和ケア研修 15人 ・がん診療研修5回 延べ373人	・緩和ケア研修 14人 ・がん診療研修6回 延べ 474人	・緩和ケア研修 15人 ・がん診療研修会5回 260人																																	
院内がん登録促進事業	・登録件数 791件	・登録件数 598件	・登録件数 752件																																	
がん相談支援事業	・相談件数 電話 784件 面談 2,879件 ・セカンドオピニオン紹介 50件	・相談件数 電話 293件 面談 379件 ・セカンドオピニオン紹介 7件	・相談件数 電話 258件 面談等 1,123件 ・セカンドオピニオン紹介 48件																																	
	2. 鳥取県がん対策推進県民会議 ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 県民が一丸となり、総合的ながん対策の推進及び充実に取り組む推進母体として鳥取県がん対策推進県民会議を設置し、本県のがんに係る現状、課題及び対策について協議するとともに、がん検診受診啓発を始め、がん対策を推進する県民運動に取り組む。 (イ) 事業の実施状況 日時：第1回 平成24年 8月 7日 (火) 第2回 平成24年11月 6日 (火) 第3回 平成25年 3月26日 (火) 場所：とりぎん文化会館 (第3会議室) 委員：鳥取県医師会、鳥取大学医学部 (がん登録)、がん診療拠点病院 (がん対策責任者)、緩和ケア関連医療機関、薬剤師会、看護協会、診療放射線技師会、がん相談支援、患者会、事業者、日本対がん協会鳥取県支部代表、報道機関、学校教育関係、市町村、県等の代表者 29人 (副知事 議長) 概要：本県のがん対策の現状について情報共有、課題協議を行い、県の施策への提案検討及び第二次がん対策推進計画の検討。																																			

事業名	概要	要
	<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・特になし</p> <p>ウ 成果 鳥取県がん対策推進条例の制定を受け、本県のがん対策に係る普及啓発、予防、早期発見・早期治療、医療水準の向上、患者・家族支援等について総合的に推進する体制により、施策を実施している。</p> <p>エ 課題 具体的な取組に関して、県民会議に参画している各種組織の積極的な取組や連携については、今後、各事業等を通じて促進する必要がある。</p> <p>3. 鳥取県がん対策推進評価専門部会</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん対策の推進</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>日 時：第1回 平成24年6月27日(水) 第2回 平成24年8月20日(月) 第3回 平成24年10月16日(火) 第4回 平成24年12月11日(火)</p> <p>場 所：鳥取県庁議会棟特別会議室</p> <p>委 員：県外専門家3名、県医師会1名、健康対策協議会1名、鳥取大学1名、がん医療専門家3名、県2名 計11名</p> <p>概 要：平成24年度中に行った「鳥取県がん対策推進計画」の見直し検討に併せ、本県が全国に比べ、がん死亡率が高い要因について、鳥取県地域がん登録や人口動態統計によるがん死亡率、がん罹患状況や喫煙率をはじめとする生活習慣にかかる各種データをもとに総合的に評価分析し、今後取るべき有効な対策等について検討を行った。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 単年度事業</p> <p>ウ 成果 がん75歳未満死亡率が全国に比して高い要因と考えられる要因を評価分析し、その結果を第二次がん対策推進計画に反映させたほか、肝炎対策の充実など、今後の取り組むべきがん対策に結びつけることができた。</p> <p>エ 課題 特になし</p>	

事業名	概	要
	<p>4 がん検診受診率向上プロジェクト2012</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 平成20年4月に策定した「鳥取県がん対策推進計画」において定めた、がん検診受診率50%達成を実現させるため、受診しやすい体制と正しい知識の普及に取り組む。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p>	<p>休日がん検診支援事業 県民が休日にごがん検診を受診できる機会を増やすため、市町村が休日にごがん検診車を使用する場合に必要な検診車休日割増費用の一部を支援した。 補助市町村数：18 補助検診車数：136（延べ台数） 補助率：2/3（国1/3, 県1/3） 限度額：がん検診車1日1台あたり 50,000円</p> <p>地域のがんを考える協議会 県福祉保健局が中心となり、各地域（県東部、中部、西部）の医師会、医療関係者、市町村、企業等と連携し、地域に密着したがん対策の推進について協議を行った。 東部＝東部圏域がん対策推進会議 平成25年3月12日 テーマ：がん検診受診者数の増加 中部＝胃がん死亡ゼロのまち中部プロジェクト事業で開催 胃がん検診推進連絡会（平成24年6月18日、平成25年2月28日開催） 西部＝西部圏域がん対策推進会議 平成24年7月5日 テーマ：働き盛り世代のがん検診受診率向上について 平成25年2月21日 テーマ：第2次鳥取県がん対策推進計画の推進に向けた取組について</p> <p>市町村がん検診知事表彰事業 がん検診の受診率に優れ、又は受診率向上に向けて創意工夫を凝らした取組を積極的に進めた市町村を表彰することにより、優良事例を紹介するとともに、がん検診受診の喚起を図った。 総合部門 1市町村 優良取組部門 1市町村 平成24年11月13日 鳥取県がん征圧大会で表彰</p> <p>がん検診推進企業アクション がん対策の推進に協力していただける企業をパートナー企業として認定し、企業と連携してがん対策の推進に取り組んだ。 認定開始 平成23年11月 認定企業 東部 中部 西部 合計 (H24年度末現在) 61 56 124 241</p> <p>がん検診受診率向上 がん検診キャンペーン月間である10月に、さまざまな媒体による一体的ながん検診受診率向上啓発を行った。 ■テレビ・ラジオCM ・本県独自CMを民放TV3局、ラジオ民放2局で放送。 ■新聞折り込み広告 日本海新聞及び山陰中央新報に折り込み 平成24年10月21日 ■トイレットペーパーによる啓発 ・本県独自のがん検診啓発トイレットペーパーを製作 （在版分：4,000個、新規分：4,000個） ・公共施設に設置、協力企業への配布、県イベントでの配布 ■新聞広告 平成24年10月14日、10月28日付日本海新聞 半5段サイズのがん検診啓発広告</p>

事業名	概要	要
	<p>乳がんピンクリボン映画祭</p>	<p>近年、罹患率・死亡率が増加傾向にある乳がんをテーマとした映画を上映し、乳がんとの向き合い方について参加者に考えていただくとともに、乳がんの早期発見のため、検診や自己触診の大切さについて正しい知識の普及を図った。</p> <p>日時：平成24年10月13日（土） 会場：とりぎん文化会館小ホール、フリースペース</p> <p>主な内容</p> <p>(1) 映画上映 ①「余命1ヶ月の花嫁」 ②「余命」 } 入場者数260人</p> <p>(2) ピンクリボンライトアップ とりぎん文化会館をピンク色にライトアップ</p> <p>(3) パネル展示等 乳がんに関するパネルの展示、がん相談コーナー、出前図書館、クイズラリー等</p>
	<p>出張がん予防教室</p>	<p>がん予防は子どもの頃からがんに対する正しい知識と正しい生活習慣を身につけることが大切であり、また働き世代に対しても職場などを通じ、たばこの害や検診の重要性について理解を深めて頂くことが重要。学校や事業所に出張がん予防教室を展開するため、講師（医師）を派遣するとともに、教材の見直しを行った。</p> <p>○教材作成 マンガを使用した一般用（高校性・大人）教材を作製 ○教室実績 ・学校関係・・・17箇所19回 ・事業所関係・・・22箇所22回</p>
<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・テーマを絞った受診率向上を目指した取り組みを実施した。</p> <p>ウ 成果 ・福祉保健局が中心となった圏域ごとの推進体制が定着し、地域の実情に応じた取り組みが図られた。 ・行政だけでなく患者会などの団体と連携した啓発活動が実施できた。</p> <p>エ 課題 がんに対する正しい知識は県民に浸透していると言えず、受診率についても50%の目標に対し、25%前後で固定化しており、一層の啓発や検診を受けやすい体制整備が必要である。</p> <p>5 禁煙治療費助成事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 喫煙年数が短く、保険適用要件を満たさない方（主に若年層）に対して、保険適用相当額を助成することで、禁煙に取り組もうとする県民を支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ニコチン依存症管理料届出受理医療機関において、保険適用となる禁煙治療に準じた治療を実施し、禁煙に成功した旨の医師の証明を付して申請を行った場合に、保険適用相当額を助成。 申請実績 11件（バレニクリン治療8件、ニコチンパッチ治療3件）</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 医療機関など関係機関へのチラシ配布、ローソンでのチラシ配架のほか、会議やイベントなど様々な機会を捉えて、助成事業の広報を行った。</p> <p>ウ 成果 23年度より着実に申請件数が増加した。</p> <p>エ 課題 引き続き、制度の広報に努め、申請件数の増加を図る。</p>		

事業名	概	要																				
	<p>6 がん患者団体活動促進支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん患者やその家族にとって、同じ体験をした者からのアドバイスや情報交換は精神面で大きな支えとなることから、当事者同士の支え合い活動の促進を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>■がん患者ピアサポート研修会 がん患者やその家族にとって、がん体験者からのアドバイスや情報交換は、精神面で大きな支えとなることから、がん経験者によるピアサポート活動を支援する研修会を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="352 616 1345 880"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>西部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日時、会場</td> <td>平成24年10月27日(土) 県立図書館 大研修室</td> <td>平成25年1月15日(火) ホテルセントパレス倉吉</td> <td>平成25年3月23日(土) 米子ふれあいの里</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>がん総合支援センター 相談員、臨床心理士</td> <td>がん相談室長、臨床心理士</td> <td>地域連携センター臨床心理士</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5団体 20人</td> <td>3団体 12人</td> <td>6団体 17人</td> </tr> </tbody> </table> <p>内容：ピアサポート活動の概要等講義、グループワークによる事例検討</p> <p>■がん患者サロン等リーダー情報交換会 がん患者サロン及びがん患者団体の活動の活性化、相互の情報交換及び交流の機会を作る。 日時：平成24年5月28日(月) 会場：ホテルセントパレス倉吉 参加者：8団体 9人</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・当事者主体の活動を促すため、当事者の意見を聞きながら情報交換会や研修会の開催方法を企画し、実施した。</p> <p>ウ 成果 ・がん患者サロン及びがん患者団体が情報や意見を交換し合い、交流を深める場となった。</p> <p>エ 課題 ・患者団体同士の交流が成熟するよう、引き続き支援していく必要がある。</p> <p>7 緩和ケア研修事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内の緩和ケア提供体制の充実を図るため、がん診療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修を実施した。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="352 1585 1492 1758"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア基本教育研修</td> <td>・厚生労働省の定めた指針に準拠した研修を実施するため研修プログラムの検討及び研修スタッフの選定等を行った。 ※研修会はがん診療連携拠点病院で実施 H24 修了者数： 51人(医師)</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 緩和ケア基本教育研修により研修受講者に緩和ケアの考え方、実践手法について理解を深めていただくことができた。</p> <p>エ 課題 研修修了者数は平成21年度の50人から210人に増加したが勤務医に偏っている。緩和ケアが地域医療にも浸透するためには、開業医が受講しやすい研修開催日を設定するなどの工夫が必要である。</p>	区分	東部	中部	西部	日時、会場	平成24年10月27日(土) 県立図書館 大研修室	平成25年1月15日(火) ホテルセントパレス倉吉	平成25年3月23日(土) 米子ふれあいの里	講師	がん総合支援センター 相談員、臨床心理士	がん相談室長、臨床心理士	地域連携センター臨床心理士	参加者	5団体 20人	3団体 12人	6団体 17人	区分	実施状況	緩和ケア基本教育研修	・厚生労働省の定めた指針に準拠した研修を実施するため研修プログラムの検討及び研修スタッフの選定等を行った。 ※研修会はがん診療連携拠点病院で実施 H24 修了者数： 51人(医師)	
区分	東部	中部	西部																			
日時、会場	平成24年10月27日(土) 県立図書館 大研修室	平成25年1月15日(火) ホテルセントパレス倉吉	平成25年3月23日(土) 米子ふれあいの里																			
講師	がん総合支援センター 相談員、臨床心理士	がん相談室長、臨床心理士	地域連携センター臨床心理士																			
参加者	5団体 20人	3団体 12人	6団体 17人																			
区分	実施状況																					
緩和ケア基本教育研修	・厚生労働省の定めた指針に準拠した研修を実施するため研修プログラムの検討及び研修スタッフの選定等を行った。 ※研修会はがん診療連携拠点病院で実施 H24 修了者数： 51人(医師)																					

事業名	概	要
	<p>8 がん専門医療従事者育成支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん診療連携拠点病院が、医師以外のがん専門医療従事者を育成する際に必要となる費用の一部を負担することにより、がん医療の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 拠点病院が、がん専門医療従事者を研修に派遣するのに必要な経費（受講料、旅費、宿泊費等）を負担した。</p> <p>(1) 研修者数 8名（看護師6名、放射線技師2名）</p> <p>(2) 研修内容（研修先） ・がん化学療法看護認定看護師（2名）、IRV学会認定看護師（3名）、「緩和ケア」認定看護師（鳥取大学医学部附属病院等） ・放射線治療品質管理士（大阪市立大学）</p> <p>(3) 研修期間 概ね6ヶ月</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 補助対象とする研修の種類を拡大するとともに、本事業の対象として、国立・独立行政法人であるがん診療連携拠点病院及びがん診療連携拠点病院に準ずる病院を加えたことで事業実施による研修者が増加した。（H23年度3名、H24年度8名）</p> <p>ウ 成果 がん診療に従事する方が専門研修を受講し、診療に当たっての考え方や実践手法を学んでいただいたことで、がん医療の質の向上が図れた。</p> <p>エ 課題 特になし。</p> <p>9 大腸がん検診特別推進事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 大腸がん検診キットを郵送等で送付することにより検診受診手続きの簡便化を図り、併せて大腸がんに関する正しい知識の普及を行うことにより、受診率の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 実施市町村 6カ所</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 平成22年度から鳥取県独自に開始した当該事業対象は40歳、60歳、又は40歳以上の特定年齢の者に限定していた。平成23年度から国が同じ補助事業を開始したことを踏まえ、国が対象とする「働く世代」と連動し、50歳代のうち、国補助対象とならない51歳から59歳までの者を補助対象としたが、対象人数が少なく費用対効果から対象拡大を望む意見が多く聞かれたため、平成24年度から補助対象を41歳以上の者に拡大した。</p> <p>ウ 成果 平成23年度に比し、対象者を41歳以上の者に拡大したことから、実施市町村がわずかではあるが増加した。（5市町村→6市町村）</p> <p>エ 課題 実施市町村の数の拡大。</p> <p>10 がん専門医資格取得支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内病院が、医師の資格取得の際に必要な費用の一部を負担することにより、がん医療の質の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 県内病院が、医師が新規資格を取得するのに必要な経費（受験料、旅費）を負担した。</p> <p>(1) 取得者数 16名</p> <p>(2) 取得資格内容 外科専門医（4名）、がん治療認定医（4名）、消化器外科専門医（2名）、眼科専門医、日本IRV学会IRV専門医、泌尿器科領域技術認定所得者、検診マングラフィ読影認定医師、消化器病専門医、乳腺専門医</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 本事業の対象として、国立・独立行政法人であるがん診療連携拠点病院等を加えたことで、事業実施による取得者数が平成23年の8名から増加した。</p>	

事業名	概	要
	<p>ウ 成果 県内のがん医療に係る各種専門医の確保、配置が促進した。</p> <p>エ 課題 特になし。</p> <p>1 1 院内がん登録普及支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内全体のがん医療の実態把握を行うため、がん診療連携拠点病院以外のがん診療を行う主な県内の病院へ院内がん登録の拡大を図り、体制整備経費を補助するとともに、併せて、「鳥取県院内がん登録情報センター」を設置し、県全体のがん医療の実態把握及び情報発信を強化する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 院内がん登録を実施する新たな病院 5病院 院内がん登録情報センター 鳥取大学医学部附属病院に委託 従事者研修会 開催 1回</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 評価・分析した院内がん登録の統計データを、ホームページにより情報発信した。</p> <p>ウ 成果 県内全体のがん治療の約9割を実態把握できる体制が整った。</p> <p>エ 課題 院内がん登録の円滑な実施と均てん化</p> <p>1 2 がん先進医療に対する貸付利子補給支援</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 高額な医療費が発生する先進医療について、県民が少しでも利用しやすいよう、県が指定するがん先進医療費専用ローンを活用した場合、利子相当額を助成する制度を創設した。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 県と協定を結んだ専用ローン開設金融機関 6機関 制度開始時期 平成23年12月 利用実績 1件</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 県民により利用しやすい制度となるよう協定締結金融機関を4機関増やし、計6機関とした。</p> <p>ウ 成果 全国の先進医療を受けたい方に受けやすい環境ができた。</p> <p>エ 課題 特になし。</p> <p>1 3 鳥取県地域がん登録適正化検討ワーキング</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん登録は、本県のがん罹患、治療等を分析する上で重要。昭和46年からの長い歴史をもつ本県のがん登録は、精度が高く、全国的にも評価されているところであるが、全国的に登録項目等の標準化が進む中、今後の本県の地域がん登録のあり方について検討する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>■第1回ワーキング 日時：平成24年 7月 23日 (月) 場所：鳥取大学医学部附属病院</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 がん登録の標準化導入に向けたより具体的なスケジュール及び課題等について協議を行った。</p> <p>ウ 成果 本県の地域がん登録のあり方について方向性が定まった。</p> <p>エ 課題 特になし。</p>	

事業名	概	要
<p>がん検診受診率向上緊急プロジェクト～ほっと安心！みんな”はじめる・つづける”がん検診～</p> <p>決算額 6,117千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 4,656千円 一般財源 1,461千円 その他 0千円</p> <p>○将来ビジョン V支え合う (4)「あんしん医療体制」構築と「健康づくり文化」の創造</p> <p>○政策項目 Ⅲ暮らしに安心</p>	<p>1 特定健診・がん検診同時受診体制整備事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 事業所で実施される特定健診とがん検診を同時に受診できる体制を整備することにより、特定健診及びがん検診相互の受診率の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 委託先：(財)鳥取県保健事業団 同時検診受診者数：135人</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 実績をみると比較的同時受診が容易な大腸がんと特定健診との同時検診の形態が多かった。市町村のがん検診受診率向上に寄与した。</p> <p>エ 課題 特になし。</p> <p>2 レディース検診推進事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 乳がん及び子宮がん検診の受診率向上を目指し、受診しやすい体制を整備するとともに、乳がん自己触診の重要性及びその手法について正しい知識の普及を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 モデル事業として、休日に乳がん検診と子宮がん検診を同日同時に受診できる体制を整備した。[平成24年7月～平成25年2月の間に計8回実施]</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 ○子宮がん検診受診者259名 ○乳がん検診受診者234名 うち同時検診受診者154名 乳がん、子宮がんを同時に受診可能な検査機関は少ないが、本事業により、多くの方に受診しやすい環境を提供できた。</p> <p>エ 課題 特になし</p> <p>3 乳がんピンクリボン運動推進事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 各福祉保健局が中心となり、圏域単位で市町村及び乳がん患者会及び各種団体と連携した乳がんピンクリボン運動(乳がん検診普及啓発)を行う。特に、乳がんは日頃の自己触診により、自分で発見できる可能性のある唯一のがん。自己触診の重要性を広くPRする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 以下の乳がん啓発物品の購入及び作製し、ピンクリボンフェスタ等で活用 ○乳がん啓発バナー ○乳がん啓発風船 ○乳がん啓発リーフレット ○乳がん自己触診モデル ○乳がん啓発冊子 ○乳がん自己触診法DVD 等 (本事業において購入・製作した啓発物品を活用したイベント) ・米子ピンクリボンフェスタ ・鳥取ピンクリボンフェスタ 等</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 本事業において購入及び作製した乳がんに係る啓発物品を、ピンクリボンフェスタ等多くの場面で活用し、多くの県民に乳がんの正しい知識を情報発信できた。</p> <p>エ 課題 特になし</p>	

事業名	概	要
	<p>4 出張がん予防教室キックオフ事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 キックオフイベントを開催し、学校関係者等に見ていただくことで「出張がん予防教室」の普及促進を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 がん教育について全国的に著名な先生を講師に迎え、以下のとおりキックオフイベントを開催した。 講師：東京大学医学部付属病院 准教授 中川 恵一 氏 がん経験者：横川 千歳 氏 日時：6月26日（火） 場所：鳥取市立北中学校 参加者：鳥取市立北中学校全校生徒 約450名 養護教諭 県教育委員会 近隣中学校教諭等</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 がん教育について、知識の少ない学校関係者に実際のがん教育を体感いただき、理解を深めることができたほか、マスコミ各社に取材してテレビ等で放送してもらうことで、広く県民にがん予防教育の重要性について周知が図れた。</p> <p>エ 課題 さらなる出張がん予防教育の推進</p> <p>5 がん検診受診率50%超チャレンジ支援事業</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 がん検診受診率50%達成を目指し、住民に対する効果的ながん検診の受診勧奨について新たな取り組みを行う市町村を支援し、県全体の受診率の向上を図った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>①専門家による支援 効果的ながん検診受診率向上に係る提案、これまでのがん検診状況の分析や新たに 取り組んだ受診勧奨の比較分析などについて、受診率向上に向けた効果的な手法に実績のある専門機関に委託し、取り組みを行う市町村に派遣した。 委託先：(株)キャンサーズキャン</p> <p>②市町村へ補助金の交付 受診率向上を目指して効果的な受診勧奨についての新たな取組に要した経費について助成（補助率1/2） 実施市町村：鳥取市、八頭町、伯耆町</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 専門家の助言により、ターゲットや提供する情報を絞り、リーフレットに効果的なメッセージを入れるなどの工夫が受診行動に繋がることを市町村が学ぶことができ、今後の参考にすることができた。</p> <p>エ 課題 特になし。</p>	

事業名	概要
	<p>6 がん検診受診率向上戦略研修会</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 市町村等の検診担当者を対象に、ソーシャルマーケティングを用いたがん検診受診率向上に関する研修会を開催し、効果的な受診率の向上のための取り組みの普及を図った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 日時：平成24年5月24日 会場：中部総合事務所講堂 講師：(株)キャンサースキャン 石川善樹氏、下田哲広氏 内容：がん検診受診率向上に関するワークショップ 研修参加者：市町村等検診担当者 41名</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新規事業</p> <p>ウ 成果 ターゲットに対する必要な情報の伝え方など受け手側に立った受診勧奨のあり方について担当者への意識づけが図られた。</p> <p>エ 課題 各担当者が、研修で習得したことを持ち帰り、住民等に対して行っている現行の受診勧奨を検証し、効果的な方法についての検討が必要である。</p>

7 決算調書
(総括表)

(単位:円)

区分	科目(目)	予			算		現		額		決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越	繰越及び 支出及び 流出増減	計 A	予備費 支出及び 流出増減	本庁	出納機関							
	公衆衛生総務費	2,509,000	4,043,000	0	0	6,552,000		4,435,680	3,174,720	1,260,960		2,116,320				
	結核対策費	37,302,000	0	0	0	37,302,000		29,966,841	10,618,491	19,348,350		7,335,159				
	予防費	545,200,000	29,103,000	0	0	574,303,000		334,133,981	18,966,555	315,167,426		240,169,019				
	精神衛生費	9,614,000	0	0	0	9,614,000		6,985,219	0	6,985,219		2,628,781				
	特定疾患対策費	588,290,000	32,159,000	0	0	630,449,000		617,634,749	14,768,376	602,866,373		12,814,251				
	健康づくり推進費	121,603,000	44,593,000	0	0	166,196,000		121,298,149	19,839,803	101,458,346		44,897,851				
	生活習慣病予防対策費	493,864,000	△ 76,897,000	0	0	416,967,000		369,274,295	15,676,084	353,598,211		47,692,705				
	合計	1,808,382,000	33,001,000	0	0	1,841,383,000		1,483,728,914	90,029,248	1,393,699,666		357,654,086				
	行政財産使用料	29,000	0	0	0	29,000		29,176				△ 176				
	衛生手数料	390,000	76,000	0	0	466,000		609,560				△ 143,560				
	衛生費国庫負担金	25,258,000	0	0	0	25,258,000		25,360,100				△ 102,100				
	衛生費国庫補助金	506,642,000	△ 136,424,000	0	0	370,218,000		410,093,010				△ 39,875,010				
	衛生費委託金	1,636,000	3,668,000	0	0	5,304,000		5,534,880				△ 230,880				
	財産貸付収入	14,413,000	0	0	0	14,413,000		13,985,258				427,742				
	利子及び配当金	1,039,000	0	0	0	1,039,000		1,056,875				△ 17,875				
	自殺対策緊急強化基金繰入金	68,049,000	4,170,000	0	0	72,219,000		46,835,533				25,383,467				
	地域医療再生基金繰入金	52,716,000	0	0	0	52,716,000		48,084,215				4,631,785				
	7772接種緊急促進基金繰入金	326,051,000	30,033,000	0	0	356,084,000		246,417,000				109,667,000				
	繰入	1,390,000	11,000	0	0	1,401,000		23,342,957				△ 21,941,957				
	衛生債	12,000,000	0	0	0	12,000,000		12,000,000				0				
	小計	1,009,613,000	△ 98,466,000	0	0	911,147,000		833,348,564				77,798,436				
	一般県費充当	798,769,000	131,467,000	0	0	930,236,000		650,380,350				279,855,650				
	合計	1,808,382,000	33,001,000	0	0	1,841,383,000		1,483,728,914	90,029,248	1,393,699,666		357,654,086				

※()は、前年度からの繰越額で、外数

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(公衆衛生総務費)					
栄養改善指導事業	6,146,000	4,117,360	0	2,028,640	<p>1 県民が健康づくりに取り組みやすい環境をつくるため、指導者の育成や給食施設、食品事業者に対する指導を行った。</p> <p>①栄養士研修会を開催(参加者190人)</p> <p>②栄養指導推進研修会を開催(参加者23人)</p> <p>③健康増進法に基づき、特定給食施設の栄養管理や一般に販売される食品の表示についての指導を実施。</p> <p>2 健康増進法に基づき、地域住民の身体状況、栄養摂取及び生活習慣に関する調査を実施。(24年10～11月、県内10地区)</p> <p>3 栄養士法に基づき、栄養士免許証の交付、管理栄養士免許申請事務を実施。</p>
鳥取県公衆衛生学会等運営費	406,000	318,320	0	87,680	<p>開催年月日：平成24年7月12日</p> <p>場所：とりぎん文化会館</p> <p>参加者数：約120名</p> <p><特別講演></p> <p>「持続可能な社会のためのバイオマスエネルギーの役割」</p> <p>鳥取環境大学環境学部 教授 横山伸也</p> <p><研究発表></p> <p>保健分野 29件</p> <p>環境分野 17件</p>
公衆衛生総務費合計	6,552,000	4,435,680	0	2,116,320	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																													
(結核対策費) 結核予防対策事業	37,302,000	29,966,841	0	7,335,159	結核患者に対する適正な医療の普及を行うとともに、結核患者の医療費を負担した。																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">命令入院患者 (法第37条)</td> <td>件数</td> <td>151件</td> <td>94件</td> <td rowspan="2">補助率3/4(国) 1/4(県)</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>15,115,000円</td> <td>15,219,495円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般患者 (法第37条の2)</td> <td>件数</td> <td>1,095件</td> <td>1,094件</td> <td rowspan="2">補助率1/2(国) 1/2(県)</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2,348,000円</td> <td>1,527,207円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>17,463,000円</td> <td>16,746,702円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分		計画	実績	備考	命令入院患者 (法第37条)	件数	151件	94件	補助率3/4(国) 1/4(県)	金額	15,115,000円	15,219,495円	一般患者 (法第37条の2)	件数	1,095件	1,094件	補助率1/2(国) 1/2(県)	金額	2,348,000円	1,527,207円	合計		17,463,000円	16,746,702円				
区分		計画	実績	備考																														
命令入院患者 (法第37条)	件数	151件	94件	補助率3/4(国) 1/4(県)																														
	金額	15,115,000円	15,219,495円																															
一般患者 (法第37条の2)	件数	1,095件	1,094件	補助率1/2(国) 1/2(県)																														
	金額	2,348,000円	1,527,207円																															
合計		17,463,000円	16,746,702円																															
<p>1 結核対策特別推進事業を実施し、結核予防対策の促進を図った。</p> <p>2 結核予防週間(9月24日～30日)の行事として、結核予防事業の功労のあった者を知事表彰した。</p> <p>3 結核定期健康診断の実施の促進により、結核罹患者を早期に発見し、必要な措置を講じるため、健康診断等を実施する私立学校・社会福祉法人が経営する老人福祉施設等に対し助成した。 結核予防費補助金 (社福)宏平会他 56) : 1,438,272円</p>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象者数 (人)</th> <th rowspan="2">受診者数 (人)</th> <th rowspan="2">受診率 (%)</th> <th colspan="3">検診内容</th> <th rowspan="2">精密検査</th> </tr> <tr> <th>インカラ</th> <th>間接70</th> <th>間接100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">私立学校・ 施設実施分</td> <td>計画</td> <td>5,016</td> <td>4,496</td> <td>89.6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,496</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>5,017</td> <td>4,314</td> <td>86.0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,314</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						区分		対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診内容			精密検査	インカラ	間接70	間接100	私立学校・ 施設実施分	計画	5,016	4,496	89.6	0	0	4,496	0	実績	5,017	4,314	86.0	0	0	4,314	0
区分		対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診内容						精密検査																							
					インカラ	間接70	間接100																											
私立学校・ 施設実施分	計画	5,016	4,496	89.6	0	0	4,496	0																										
	実績	5,017	4,314	86.0	0	0	4,314	0																										
結核対策費 合計	37,302,000	29,966,841	0	7,335,159																														

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(予防費)					
新型インフルエンザ対策事業	7,242,000	2,876,868	0	4,365,132	新型インフルエンザの発生時に迅速かつ適切な医療が提供できるよう、関係機関の連携強化と人材育成を行った。また、インフルエンザの感染予防や拡大防止について、地域住民への啓発を行った。(新聞広告：1回)
新型インフルエンザ入院病床確保事業	100,440,000	0	0	100,440,000	強毒性の新型インフルエンザ発生による、重症化患者の入院病床確保の経費。発生が無かったため、県から病院へ空床要求せず、空床補償もなかった。
① 鳥取県ワクチン接種緊急促進基金事業	358,255,000	247,276,799	0	110,978,201	主要事業 (ワクチン接種緊急促進基金事業) 予防接種法上の定期接種化に向けた検討が行われることとなっている子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについて、接種対象年齢層にひととおりの接種を提供し、これらの予防接種を促進する。
予防接種事故対策事業	10,995,000	9,890,190	0	1,104,810	予防接種による健康被害者を救済する市町村に対し、補助金を交付した。

(単位：円)

区分	医療費 A	医療手当 B	障害年金 C	補助対象額 (A+B+C)=D	補助額 (D×3/4)=E	事故調査委員会 補助対象額 F	補助額 (F×3/4)=G	補助額計 (E+G)=H
鳥取市	70,180	403,500	7,839,360	7,863,040	5,897,280	26,480	19,000	5,916,280
八頭町	0	0	4,470,660	4,470,660	3,352,995	0	0	3,352,995
米子市	52,420	442,800	0	495,220	627,217	0	0	371,415
合計	122,600	846,300	11,859,420	12,828,920	9,975,712	26,480	19,000	9,640,690

感染症病床整備事業

28,305,000 28,305,000

0

0

鳥取大学医学部附属病院が行う感染症病床の整備について

- ・西部医療圏域の感染症対策の充実
- ・県全体の感染症医療の向上

を図るため、「鳥取県地域医療再生基金」を活用し、県が施設整備の一部を補助した。

<施設整備>
補助率：県1/2(残は事業者負担)
補助対象：感染症病床の建設のために必要な工事費等

単位：円、()内は補助対象経費

		予算	交付決定	実績	備考
感染症病床整備事業 (鳥取大学医学部附属病院)	施設	(56,610,000) 28,305,000	(56,610,000) 28,305,000	(56,610,000) 28,305,000	補助率1/2
合計		(56,610,000) 28,305,000	(56,610,000) 28,305,000	(56,610,000) 28,305,000	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果						
ハンセン病事業費	4,368,000	2,162,696	0	2,205,304	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 ハンセン病に対する差別・偏見を解消するための普及啓発を進めるとともに、訪問事業等を通じて療養所入所者との絆を深める。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="539 638 1393 1137"> <tr> <td>訪問事業</td> <td>全国2療養所を訪問し、意見要望等の聞き取りを行った。また、郷土の特産品(二十世紀梨)、地方情報誌(とっとりNOW)等を全国4療養所に送付した。</td> </tr> <tr> <td>パネル展示</td> <td>ハンセン病に対する偏見・差別を解消し、正しい知識を持っていただくため、県内各所(総合事務所ギャラリー等(計4箇所))でパネル展示を実施した。</td> </tr> <tr> <td>ハンセン病学習会</td> <td>県内の小中高等学校の生徒を対象に入所者等を講師とする学習会を開催し、ハンセン病に対する知識等を深めた。(県立学校8校で実施)</td> </tr> </table>	訪問事業	全国2療養所を訪問し、意見要望等の聞き取りを行った。また、郷土の特産品(二十世紀梨)、地方情報誌(とっとりNOW)等を全国4療養所に送付した。	パネル展示	ハンセン病に対する偏見・差別を解消し、正しい知識を持っていただくため、県内各所(総合事務所ギャラリー等(計4箇所))でパネル展示を実施した。	ハンセン病学習会	県内の小中高等学校の生徒を対象に入所者等を講師とする学習会を開催し、ハンセン病に対する知識等を深めた。(県立学校8校で実施)
訪問事業	全国2療養所を訪問し、意見要望等の聞き取りを行った。また、郷土の特産品(二十世紀梨)、地方情報誌(とっとりNOW)等を全国4療養所に送付した。										
パネル展示	ハンセン病に対する偏見・差別を解消し、正しい知識を持っていただくため、県内各所(総合事務所ギャラリー等(計4箇所))でパネル展示を実施した。										
ハンセン病学習会	県内の小中高等学校の生徒を対象に入所者等を講師とする学習会を開催し、ハンセン病に対する知識等を深めた。(県立学校8校で実施)										
					<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果 小学校を中心に開催した学習会において、児童からも活発に意見・感想が出され、理解が深まった。</p> <p>エ 課題 全国5療養所に入所されている方々が高齢化している状況であることから、高齢化にきめ細やかに対応して事業を実施していく必要がある。 また、学習会に対応していただける元ハンセン病回復者の方も高齢化しているため、今後、学習会を継続するために講師の確保が必要である。</p>						

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
エイズ予防対策事業	13,006,000	8,016,007	0	4,989,993	<p>エイズの蔓延防止と早期発見・治療を行うとともに、感染者・患者に対する偏見・差別の解消を図るための事業を行った。</p> <p>① 正しい知識の普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HIV検査普及週間（6月） ・ 性感染症予防キャンペーン（7～9月） ・ 新聞等による広報の実施 ・ 学校と連携した健康教育の実施 ・ 時間外検査の実施（夜間・休日等） ・ 世界エイズデー関連事業（12月） <p>② 相談・指導體制の充実</p> <p>研修へ職員を派遣し、エイズ相談指導體制の充実を図った。 （保健所保健師等研修派遣2名）</p> <p>③ 医療体制の充実</p> <p>拠点病院職員を研修等に派遣、資質向上を図った。 （拠点病院医師等研修派遣5名）</p> <p>④ 検査体制の充実</p> <p>イベントにあわせて迅速・時間外検査の導入等、保健所における検査体制の充実を図った。</p> <p style="text-align: right;">検査件数 エイズ：596件 梅 毒：420件 クラミジア：423件</p>
熱中症対策事業	1,146,000	1,037,449	0	108,551	<p>22年度の夏は過去に例のないほどの猛暑が続き、熱中症による健康被害（救急搬送、死亡事例）が増加した。</p> <p>続いて、23年度は東日本大震災による節電対策により、エアコンの使用抑制等による熱中症発生が危惧された。</p> <p>このような状況により、近年、熱中症対策が重要な課題となっており、県民及び関係者（管理者）に対して、積極的な啓発等が必要であることから、以下のとおり熱中症に対する取組を事業化して実施した。</p> <p>1. 熱中症の予防啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 鳥取県熱中症警報の発令 (2) 鳥取県熱中症注意月間の設置 (3) 発症リスクが高い者への注意喚起 <p>2. 関係者（管理者）の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 熱中症講演会 (2) 鳥取県熱中症対策連絡会議

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
感染症対策推進事業	50,546,000	34,568,972	0	15,977,028	<p>感染症発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療を提供した。</p> <p>①感染症危機管理整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保健所で施設等に対して研修会を開催し、予防・拡大防止対策等を指導した。 佐賀県で開催された西日本感染症対策主管部課長連絡協議会に出席し、感染症対策の近県との連携を図った。 <p>②感染症予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症発生時、迅速対応により感染拡大防止を図った。 感染症指定医療機関運営への助成を行った。 <p>③感染症予防対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症発生動向調査により1～5類感染症の患者発生状況を把握し、感染症危機管理対策協議会の部会で解析、県民に情報提供を行った。 感染症の発生時や感染症集団発生時には情報提供すると同時に予防啓発を行った。 感染症流行予測調査による日本脳炎の流行状況把握を行った。 麻しん排除に向け普及啓発を中心とした活動を展開した。 テレビスポット、県政だより等による啓発 <p>④動物由来感染症予防体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修へ職員4名を派遣した。 動物由来感染症対策検討会を開催した。
予防費合計	574,303,000	334,133,981	0	240,169,019	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																				
(精神衛生費) 精神保健福祉 センター運営 費	9,614,000	6,985,219	0	2,628,781	相談・指導事業 県民の心の健康の保持増進と精神障害者の社会復帰、社会参加促進の援助のために、技術的指導・援助、教育研修、広報普及、調査研究、精神保健福祉相談及び協力組織の強化育成事業を実施した。																				
精神保健福祉 相談の受付状況 (単位：件)																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度内新規件数</th> <th>繰越件数</th> <th>述件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所内相談</td> <td>340</td> <td>255</td> <td>3,668</td> </tr> <tr> <td>所外相談</td> <td>48</td> <td>35</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td>306</td> <td>44</td> <td>2,270</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>694</td> <td>334</td> <td>6,069</td> </tr> </tbody> </table>				区分	年度内新規件数	繰越件数	述件数	所内相談	340	255	3,668	所外相談	48	35	131	電話相談	306	44	2,270	計	694	334	6,069
区分	年度内新規件数	繰越件数	述件数																						
所内相談	340	255	3,668																						
所外相談	48	35	131																						
電話相談	306	44	2,270																						
計	694	334	6,069																						
精神衛生費 合計	9,614,000	6,985,219	0	2,628,781																					

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(特定疾患対策費) 鳥取県難病相談・支援センター整備事業	5,629,000	5,629,000	0	0	難病相談・支援センターを設置し、難病患者や家族の相談に応じたり、研修会の開催、患者会の支援を行った。 ○相談875件 ○訪問5回
特定疾患対策費	607,906,000	599,910,491	0	7,995,509	特定疾患56疾患及び先天性血液凝固因子障害の患者について医療費の自己負担分の一部または全部を公費負担した。
区 分			対象者(人)	支払延件数(件)	公費負担額(円)
特定疾患治療研究事業			4,011	130	576,143,772
先天性血液凝固因子障害等治療研究事業			21	5	4,639,965
在宅人工呼吸器使用特定疾患患者訪問看護治療研究費			4	32	4,573,550
合 計			4,036	167	585,357,287
重症難病患者入院施設確保事業	6,053,000	6,053,000	0	0	重症難病患者の入院施設確保及び療養支援体制整備のため鳥取県難病医療連絡協議会を設置し、医療ネットワークの基盤整備を行ったほか、患者等からの相談対応、患者家族会の支援、研修会の開催等を行った。 ○相談件数(延べ)174件 ○研修会の開催実績開催回数：3回
難病患者支援事業	5,110,000	4,417,968	0	692,032	
難病患者地域支援対策推進事業					
①訪問相談事業			在宅の難病患者や家族の精神的負担を軽減するため、保健所の保健師等が訪問相談を行った。 実施回数 59回		
②医療相談事業			二次保健医療圏ごとに相談班を設置し、難病患者及びその家族の医療相談を行った。 実施回数 11回		
③難病患者等ホームヘルパー養成研修会			在宅難病患者の需要に対応できるホームヘルパーを養成するための研修会を行う。 実施回数 1回		
難病患者等居宅生活支援事業					
①ホームヘルプサービス事業			市町村が行う、難病患者の在宅療養を支援するためのホームヘルパー派遣事業に助成した。 平成24年度実施市町村数：2市町		
②短期入所事業			市町村が行う、介護する者の疾病等により在宅患者の療養が困難になった場合の、医療機関等への一次保護への助成。 平成24年度実施市町村数：なし		
③日常生活用具給付事業			市町村が行う、難病患者等が在宅療養に必要な特殊寝台等の日常生活用具の給付事業に助成した。 平成24年度実施市町村数：7市町		
在宅重症難病患者一時入院事業	5,751,000	1,624,290	0	4,126,710	重症難病患者の家族等介護者の休息(レスパイト)等目的での入院について、入院先の調整を行った。 ○入院延人数 10人 ○入院延日数 82日
特定疾患対策費 合 計	630,449,000	617,634,749	0	12,814,251	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(健康県づくり推進費) 主) ココカラげんき鳥取県推進事業	15,502,000	14,177,356	0	1,324,644	主要事業 〈ココカラげんき鳥取県推進事業〉
主) ウォーキング立県とっとり事業	12,270,000	10,663,184	0	1,606,816	主要事業 〈ウォーキング立県とっとり事業〉
主) みんなで支えあう地域づくり事業(自殺対策事業)	70,752,000	45,507,222	0	25,244,778	主要事業 〈鳥取県自殺対策緊急強化基金事業〉
鳥取県自殺対策緊急強化基金造成事業	40,000,000	29,078,000	0	10,922,000	国の経済対策による平成24年度補正予算で措置された地域自殺対策緊急強化交付金を基金へ積み増した。〈基金の設置目的〉 現下の厳しい経済情勢を踏まえ、追い込まれた人に対するセーフティネットとして、地域の実情を踏まえて実施する自殺予防の取組等に支援を行い、地域における自殺対策の充実を図る。
自殺対策緊急強化基金返還金	4,170,000	4,169,828	0	172	自殺対策緊急強化基金(厚労省分)の事業実施期限が到来した為、基金の残余额を国庫へ返還した。
糖尿病予防対策連携強化事業	3,639,000	1,943,540	0	1,695,460	県民が安心してかかりつけ医療機関で糖尿病の初期治療が受けられる体制を構築するため、平成24年度の鳥取県糖尿病対策推進会議において、鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度・要領を策定し、平成24年度から運用を開始。 そのため、平成24年度は、鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度の具体的な事務の流れや、登録医の登録対象となる研修会の開催方法など、具体的な実施方法について議論を行った。 平成24年度の登録医数：144人
主) 食育地域ネットワーク強化事業	4,525,000	2,483,180	0	2,041,820	主要事業 〈食育ネットワーク強化事業〉
鳥取県「食の応援団」支援事業	5,042,000	5,041,420	0	580	県民の健康の保持・増進を図るため、地域で行われる栄養・食生活改善の取組に対して補助した。 ○鳥取県食生活改善推進員連絡協議会 食習慣改善講習会 134回 2,643人 教育研修事業 111回 1,764人 ○社団法人鳥取県栄養士会 生活習慣病予防のための栄養教室 38回 3,687人 個別栄養指導 36回 1,205人 子どものための食育教室 78回 3,907人 加工食品の栄養成分表示の推進 3件

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
ひきこもり対策推進事業	7,250,000	5,929,611	0	1,320,389	<p>健事務所、各総合事務所において相談・家族教室を行うとともに、とっとりひきこもり生活支援センターを平成21年度より設置し、ひきこもり者への支援強化を図っている。</p> <p>1 とっとりひきこもり生活支援センターの設置 NPO法人鳥取青少年ピアサポートへ相談支援、就労体験事業等を委託。 相談件数：実65人 延べ896件 就労体験者数：8人</p> <p>2 ひきこもり支援機関連絡会 精神保健福祉センター、東部福祉保健事務所、各総合事務所福祉保健局、とっとりひきこもり生活支援センター、とっとり若者サポートステーション等関係機関で連絡会を開催。(月1回)</p> <p>3 相談・家族教室 精神保健福祉センターと各総合事務所福祉保健局において相談支援等を実施。</p>
慢性腎臓病予防対策事業	528,000	78,940	0	449,060	<p>「慢性腎臓病 (CKD) 予防対策研修会」 慢性腎臓病予防について知識を深め、効果的な保健指導の取り組み方について学び、保健指導の従事者の人材育成を目的とした研修 【開催回数】1回 【対象】保健師、管理栄養士、医師、看護師、健診関係者等等 【参加人数】78人 【内容】 ・慢性腎臓病に対する戦略 ・人工透析予備群への介入と保健指導体制の整備</p>
食物アレルギー対策推進事業	500,000	257,353	0	242,647	<p>専門機関の設置を含めた効果的なアレルギー対策を検討するため、大学病院、アレルギー専門医、学校関係者等で構成する食物アレルギー対策検討会を開催した。 【開催回数】2回 【内容】 ・食物アレルギー診療及び医療体制の実態把握 ・学校現場でのアレルギー疾患に対する対応 ・効果的な医療提供体制のあり方</p>
福祉保健部（健康政策課）管理運営費	2,018,000	1,968,515	0	49,485	福祉保健部（健康政策課）の管理・運営に要する経費。
健康県づくり推進費 合計	166,196,000	121,298,149	0	44,897,851	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	引残額	事業の計画と実績・成果															
(生活習慣病対策費) ① がん対策推進事業	121,417,000	102,495,882	0	18,921,118	主要事業 〈がん対策推進事業〉															
② がん検診受診率向上緊急プロジェクト	10,818,000	6,117,464	0	4,700,536	主要事業 〈がん検診受診率向上緊急プロジェクト〉															
(8020)運動推進事業	2,438,000	1,641,409	0	796,591																
区 分			実績・成果																	
歯の衛生週間相談事業（委託）			3地区において、口腔衛生知識の普及と歯科疾患に対する相談を目的として実施。 参加者：計 1,332名																	
口腔衛生関係者研修会			母子歯科保健指導者等の資質向上のための研修会を開催。 鳥取県の取組紹介 健康政策課 テーマ「子どもの口腔機能の発達とその支援」 講師：井上 美津子教授（昭和大学歯学部） 参加者：計 125名																	
むし歯予防フッ化物洗口事業	3,256,000	1,994,630	0	1,261,370																
区 分			実績・成果																	
むし歯予防フッ化物洗口事業 （委託先：一般社団法人鳥取県歯科医師会） 子どものむし歯を予防するためフッ化物洗口を全県的に普及し、実施できる体制を整備する。			市町村を通じて保育所モデル園を募集し、フッ化物洗口事業を実施した。（未実施の施設が対象） 【モデル園の状況】																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>モデル園数</th> <th>実施人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東 部</td> <td>11</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>中 部</td> <td>2</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>西 部</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13</td> <td>288人</td> </tr> </tbody> </table>				モデル園数	実施人数	東 部	11	229人	中 部	2	59人	西 部	—	—	合 計	13	288人
	モデル園数	実施人数																		
東 部	11	229人																		
中 部	2	59人																		
西 部	—	—																		
合 計	13	288人																		

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	引残額	事業の計画と実績・成果
健口食育プロジェクト事業	2,464,000	1,844,521	0	619,479	生涯自分の歯でおいしく食べることができるよう、ライフステージに応じた口腔機能に関する知識の普及と人材を育成することを目的とし、3コースを実施した。
各コース		東部福祉保健局	中部福祉保健局	西部福祉保健局	
健口キッズ（幼児）		5 保育所（131名）	4 保育所（36名）	7 保育所（137名）	
健口的メタボ予防（成人）		1 回 （食生活改善推進員等）	1 回 （衛生管理者等）	1 回 （子育てサークル代表者等）	
食べ方ヒヤリハット防止（幼児・高齢者）		2 回 （介護職、ケアマネジャー、市町村、歯科関係者等）	1 回 （介護職、ケアマネジャー、市町村地域包括支援センター等）	2 回 （高齢者施設職員等）	
委託先	一般社団法人鳥取県歯科医師会				
委託事業名	健口食育プロジェクト事業 子どもの口腔機能向上のための歯科医師対応力向上研修				
内 容	<p>(1) 子どもの口腔機能の発達等の相談窓口を整備するため、歯科医師へ研修を行い、県が協力医として認定する。</p> <p>日時：11月18日（日）10時～15時 場所：西部歯科医師会館 講師：田村 文誉准教授（日本歯科大学） 受講者数：77名（うち歯科医師 22名を協力医として認定） 協力医数：65名（H23:43、H24:22）</p> <p>(2) 口腔機能に関する健康教育の実施 対象：保育所保護者</p>				

(単位:円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
肝臓がん(肝炎)対策事業費	2,002,000	1,120,210	0	881,790	肝臓がん死亡の抑制を目的として、がんの原因であるB型・C型肝炎ウイルスの早期発見及び治療体制整備のため、次の事業を行った。 ・肝炎対策協議会 ・肝炎医療従事者研修会の実施 ・肝臓がん検診従事者講習会の実施 ・肝炎ウイルス保健所検診の実施 ・肝炎ウイルス医療機関検診の実施
協議会名		回数	開催日		
肝炎対策協議会		年2回	H24.8.11		
			H25.3.2		
研修会名			開催日	人数	
肝炎医療従事者研修会			H25.2.2	38名	
肝臓がん検診従事者講習会	肝臓がん検診従事者講習会	肝臓がん検診症例検討会	H25.3.2	87名	
肝炎ウイルス保健所検査			検査件数		
HBs抗原検査			142件		
HCV抗体検査			141件		
HCV抗原検査			1件		
HCV核酸増幅検査			0件		
肝炎ウイルス医療機関検査				検査件数	
HBs抗原検査				1件	
HCV抗体検査				0件	
HBs抗原検査、HCV抗体検査				6件	
HBs抗原検査、HCV抗体検査、HCV抗原検査				0件	
HBs抗原検査、HCV抗体検査、HCV抗原検査、HCV核酸増幅検査				0件	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果	
肝炎治療特別促進事業	132,035,000	114,768,664	0	17,266,336	<p>B型肝炎、C型肝炎の早期治療を促進し、肝硬変や肝がんへの進行を未然に防ぐ観点から、B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行う、保険適用となるインターフェロン治療費等について、患者自己負担額の一部を助成する事業を平成20年度より実施。</p>	
	平成23年度	認定者数 (名)	内訳			
			B型肝炎	C型肝炎		代償性肝硬変
	4月	22	13	8		1
	5月	28	21	2		5
	6月	26	16	6		4
	7月	32	18	13		1
	8月	32	18	12		2
	9月	24	8	11		5
	10月	15	8	7		0
	11月	15	7	7		1
	12月	46	31	9		6
	1月	57	44	8		5
	2月	105	84	4		17
	3月	156	119	8		29
	計	558	387	95	76	

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果																																				
生活習慣病検診等精度管理委託事業	19,863,000	18,341,924	0	1,521,076	<p>1 健康増進法に基づき市町村が実施するがん検診等をより効果的に実施するため管理指導機関として次の部会からなる「鳥取県生活習慣病健診等管理指導協議会」を設け、鳥取県健康対策協議会に運営を委託して、健康診査の実施状況を把握、検討・評価した。</p> <p>2 健康増進法に基づき市町村が実施するがん検診等に従事する者の資質の向上を図るため、生活習慣病検診等管理指導協議会の各部会の指導のもとに、次の各検診従事者講習会を鳥取県健康対策協議会に委託して開催した。</p> <p>3 がん患者の動向を把握し、がん予防対策を効果的に推進するため、がん患者を登録し、罹患率、受診状況、生存率等の把握及び解析を行う「鳥取県がん登録」を鳥取県健康対策協議会に委託して実施した。</p> <p>4 がん検診の精密検査の精度管理を徹底するため相互評価、症例検討会を開催した。また、その状況を冊子にとりまとめ、今後の参考とした。 (鳥取県健康対策協議会に委託)</p> <p>[報告書]</p> <ul style="list-style-type: none"> 規格：A4版、モノクロ 作成部数：750部 配布先：各種がん検診精密検査登録医療機関等 各都道府県 県内各市町村 																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部会名</th> <th>開催回数</th> <th colspan="2">開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 9. 13</td> <td>H25. 3. 14</td> </tr> <tr> <td>循環器疾患等部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 9. 1</td> <td>H25. 1. 31</td> </tr> <tr> <td>胃がん部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 8. 30</td> <td>H25. 2. 16</td> </tr> <tr> <td>子宮がん部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 8. 23</td> <td>H25. 2. 17</td> </tr> <tr> <td>肺がん部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 8. 9</td> <td>H25. 2. 23</td> </tr> <tr> <td>乳がん部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 8. 18</td> <td>H24. 12. 13</td> </tr> <tr> <td>大腸がん部会</td> <td>2回</td> <td>H24. 8. 4</td> <td>H24. 2. 14</td> </tr> <tr> <td>がん登録委員会</td> <td>1回</td> <td>H24. 8. 29</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						部会名	開催回数	開催日		総合部会	2回	H24. 9. 13	H25. 3. 14	循環器疾患等部会	2回	H24. 9. 1	H25. 1. 31	胃がん部会	2回	H24. 8. 30	H25. 2. 16	子宮がん部会	2回	H24. 8. 23	H25. 2. 17	肺がん部会	2回	H24. 8. 9	H25. 2. 23	乳がん部会	2回	H24. 8. 18	H24. 12. 13	大腸がん部会	2回	H24. 8. 4	H24. 2. 14	がん登録委員会	1回	H24. 8. 29	
部会名	開催回数	開催日																																							
総合部会	2回	H24. 9. 13	H25. 3. 14																																						
循環器疾患等部会	2回	H24. 9. 1	H25. 1. 31																																						
胃がん部会	2回	H24. 8. 30	H25. 2. 16																																						
子宮がん部会	2回	H24. 8. 23	H25. 2. 17																																						
肺がん部会	2回	H24. 8. 9	H25. 2. 23																																						
乳がん部会	2回	H24. 8. 18	H24. 12. 13																																						
大腸がん部会	2回	H24. 8. 4	H24. 2. 14																																						
がん登録委員会	1回	H24. 8. 29																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>講習会名</th> <th>開催日</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診従事者講習会</td> <td>H24. 9. 1</td> <td>48名</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診従事者講習会</td> <td>H25. 2. 16</td> <td>128名</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診従事者講習会</td> <td>H25. 2. 17</td> <td>59名</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診従事者講習会</td> <td>H25. 2. 23</td> <td>86名</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診従事者講習会</td> <td>H24. 8. 18</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診従事者講習会</td> <td>H24. 8. 4</td> <td>84名</td> </tr> </tbody> </table>					講習会名	開催日	参加人員	特定健診従事者講習会	H24. 9. 1	48名	胃がん検診従事者講習会	H25. 2. 16	128名	子宮がん検診従事者講習会	H25. 2. 17	59名	肺がん検診従事者講習会	H25. 2. 23	86名	乳がん検診従事者講習会	H24. 8. 18	78名	大腸がん検診従事者講習会	H24. 8. 4	84名																
講習会名	開催日	参加人員																																							
特定健診従事者講習会	H24. 9. 1	48名																																							
胃がん検診従事者講習会	H25. 2. 16	128名																																							
子宮がん検診従事者講習会	H25. 2. 17	59名																																							
肺がん検診従事者講習会	H25. 2. 23	86名																																							
乳がん検診従事者講習会	H24. 8. 18	78名																																							
大腸がん検診従事者講習会	H24. 8. 4	84名																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催期日</th> <th>出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診症例検討会</td> <td>H25. 2. 16</td> <td>128名</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診症例検討会</td> <td>H25. 2. 17</td> <td>59名</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診症例検討会</td> <td>H25. 2. 23</td> <td>86名</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診症例検討会</td> <td>H24. 8. 18</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診症例検討会</td> <td>H24. 8. 4</td> <td>84名</td> </tr> </tbody> </table>					区分	開催期日	出席者数	胃がん検診症例検討会	H25. 2. 16	128名	子宮がん検診症例検討会	H25. 2. 17	59名	肺がん検診症例検討会	H25. 2. 23	86名	乳がん検診症例検討会	H24. 8. 18	78名	大腸がん検診症例検討会	H24. 8. 4	84名																			
区分	開催期日	出席者数																																							
胃がん検診症例検討会	H25. 2. 16	128名																																							
子宮がん検診症例検討会	H25. 2. 17	59名																																							
肺がん検診症例検討会	H25. 2. 23	86名																																							
乳がん検診症例検討会	H24. 8. 18	78名																																							
大腸がん検診症例検討会	H24. 8. 4	84名																																							

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
特定健康診査・ 特定保健指導推 進事業	63,796,000	63,348,662	0	447,338	<p>1 特定健康診査・保健指導費負担金 国民健康保険法に基づき、市町村が実施した「高齢者の医療の確保に関する法律」の規定による特定健康診査及び特定保健指導に対し、その経費の3分の1を助成。 対象市町村：19 市町村</p> <p>2 特定健診・保健指導従事者研修会 平成20年度に開始された特定健診・保健指導において、質の高い効果的な保健指導を実施する特定健診・保健指導の従事者の人材育成のための研修について、県と保険者協議会との共催により実施（8月～11月）した。 【開催回数】3回 【対象】保健師、管理栄養士、医師、看護師等 【参加人数】延18.1人 【内容】 ・特定健診・保健指導の評価 ・保健指導に活かす生活習慣病のメカニズム ・行動変容を促す保健指導</p>
胃がん死亡ゼロ のまち中部プロ ジェクト事業	2,407,000	1,441,938	0	965,062	<p>胃がん死亡率が他圏域に比べ高く推移している中部地区において、胃がん死亡率を減少するため、管内の市町村・医師会・厚生病院等と連携して胃がん検診受診率向上を目指した取り組みを実施。 (取組内容) ・胃がん死亡ゼロ推進キャラバンの実施（平成24年5月15日～18日） ・中部弁ラジオスポット（FM山陰）による啓発（平成24年5月・9月） ・住民向け啓発ポスター・チラシ、企業の従業員向けチラシの作成 ・啓発DVDの作成 ・出前講座の実施（3企業）</p>
石綿健康被害救 済基金拠出事業	12,480,000	12,480,000	0	0	<p>石綿による健康被害への救済給付の財源として、(独)環境再生保全機構が設置した石綿健康被害救済基金へ負担金を拠出した。</p>

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
健康増進事業	40,962,000	40,947,040	0	14,960	市町村が健康増進法に基づき実施する下記事業に要する費用の一部を補助した。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康手帳の交付 健康管理と適切な医療の確保のために健康診査や健康教育等の記録を行う手帳を交付した。 ・健康教育 生活習慣病及び介護を要する状態の予防など健康に関する正しい知識の普及を図った。 ・健康相談 心身の健康に関する個別相談に応じ、必要な指導や助言を行った。 ・健康診査 生活習慣病の早期発見のため健康診査を行い、特に指導が必要な者には保健指導を実施した。 ・機能訓練 疾病、外傷、老化等により心身の機能が低下している者に対して、その機能回復に必要な訓練を行った。 ・訪問指導 療養上の保健指導が必要な方やその家族に対し、保健師等が訪問して必要な指導を行った。
元健康増進センター等庁舎管理費	3,029,000	2,731,951	0	297,049	元東部健康増進センター及び元中部健康増進センター管理に要する経費
生活習慣病予防対策事業 合計	416,967,000	369,274,295	0	47,692,705	
合計	1,841,383,000	1,483,728,914	0	357,654,086	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

- (1) 継続費通次繰越調べ 該当なし
- (2) 繰越明許費調べ 該当なし
- (3) 事故繰越調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

(単位:円)

収入科目	目	件数	単価	証紙はりつけ額	備考
衛生手数料					
	計(節)				
本庁執行分計(目)		0		0	
出納機関執行分計(目)				588,800	東部・中部・西部福祉保健局
	目計			588,800	
	合計			588,800	

12 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料 (単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
行政財産使用料	行政財産使用料	計(節)	0	0	0	0	0		
		本庁執行分計(目)	0	0	0	0	0		
		出納機関執行分計(目)	3	29,176	29,176	0	0		精神保健福祉センター
		目計	3	29,176	29,176	0	0		
		合計	3	29,176	29,176	0	0		

(3) 手数料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
衛生手数料	衛生手数料	栄養士免許等手数料	129	588,800	588,800	0	0	鳥取県手数料徴収条例第2条(67)~(69)	
		計(節)	129	588,800	588,800	0	0		
		本庁執行分計(目)	129	588,800	588,800	0	0		
		出納機関執行分計(目)	22	20,760	20,760	0	0		東部、西部福祉保健局
		目計	151	609,560	609,560	0	0		
		合計	151	609,560	609,560	0	0		

(4) 財産収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
財産貸付収入	財産貸付収入	—	4	13,985,258	13,985,258	0	0	地方自治法第238条5	
		計(節)	4	13,985,258	13,985,258	0	0		
		本庁執行分計(目)	4	13,985,258	13,985,258	0	0		
		出納機関執行分計(目)	0	0	0	0	0		
		目計	4	13,985,258	13,985,258	0	0		
利子及び配当金	利子及び配当金	—	3	1,056,875	1,056,875	0	0	鳥取県基金条例	
		計(節)	3	1,056,875	1,056,875	0	0		
		本庁執行分計(目)	3	1,056,875	1,056,875	0	0		
		出納機関執行分計(目)	0	0	0	0	0		
		目計	3	1,056,875	1,056,875	0	0		
		合計	7	15,042,133	15,042,133	0	0		

(5) 寄附金 該当なし

(6) 諸収入

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
	節	目								
雑入	雑入	建物賃借に係る水道・電気料負担金(24年度4月~3月分)	12	602,622	602,622	0	0			
		平成23年度感染症指定医療機関運営費補助金の返還	2	1,088,000	1,088,000	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度国民健康保険特定健康診査・保健指導費負担金返還	15	8,593,000	8,593,000	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度石綿健康被害救済給付業務委託費請求	1	4,470	4,470	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度鳥取県がん診療連携拠点病院補助金に係る返還	1	1,508,000	1,508,000	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度鳥取県がん専門医療従事者育成支援負担金に係る返還	1	105,000	105,000	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度鳥取県内がん登録拡大支援事業補助金に係る返還	1	654	654	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度鳥取県健康増進事業費補助金の返還	19	9,165,000	9,165,000	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度鳥取県難病患者等居宅生活支援事業費補助金に係る返還	8	1,848,000	1,848,000	0	0	補助金等交付規則等		
		平成23年度鳥取県予防接種事故対策費負担金の返還	2	121,815	121,815	0	0	補助金等交付規則等		
		非常勤・臨時職員雇用保険料(本人負担分)	48	38,501	38,501	0	0			
		本庁執行分計(目)			110	23,075,062	23,075,062	0	0	
		出納機関執行分計(目)				267,895	267,895	0	0	東・中・西部福祉保健局 精神保健福祉センター
		目計				23,342,957	23,342,957	0	0	
		合計(一般会計)				23,342,957	23,342,957	0	0	

(7) 現金の取扱状況 該当なし

13 税外収入未済額調べ 該当なし

14 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

15 税外収入不納文損額調べ 該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	設定年度の 執行額A	執行(支出)状況				備考
		議決	期間	限度額			債務負担行為の期間			合計 A+B	
							23年度までの 執行額	24年度執行 額	25年度以降 の執行予定 額		
精神保健福祉センター清掃業務委託	その他	平成23年3月	平成24年度か 平成26年度 まで	円 6,279,000	円 5,780,376	円 0	円 1,396,920	円 2,794,000	円 4,190,920	円 4,190,920	
精神保健福祉センター電話交換機等 賃借料	その他	平成17年3月	平成18年度か 平成24年度 まで	円 1,611,000	円 1,734,600	円 1,486,800	円 154,320	円 0	円 1,641,120	円 1,765,020	
合計				円 7,890,000	円 7,514,976	円 123,900	円 1,551,240	円 2,794,000	円 5,832,040	円 5,955,940	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1)負担金

(単位:円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要 綱等を含む。)	備考
精神衛生費									
支出金額が10万円未 満のもの									
本庁執行分計									
出納機関執行分計							50,000		精神保健福祉 センター
目 計							50,000		
生活習慣病予防対策 費	12,480,000	単県	石綿健康被害救 済基金負担金	(独)環境再生 保全機構	定額	25.2.20	12,480,000	石綿による健康被害 の救済に関する法 律第32条第2項	
支出金額が10万円未 満のもの							40,000		地域がん登録 全国協議会
本庁執行分計							12,520,000		
出納機関執行分計									
目 計							12,520,000		
合 計							12,570,000		

(2)補助金

予算科目(結核対策費)

① 国 補 分 該当無し

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
							補助率及び 補助金額	概算払 精算払 の別		支出 年月日
結核予防費補助金(昭和 62年度)	(社)宏平会 外55		2,157,443	-	-	25.4.12外	精算	25.4.18 外	1,438,272	
私立学校、老人保健福祉 施設等が実施する結核 検診への補助			(補助率:2/3) 1,438,272	24.9.11外 24.10.19外	- 25.3.21外	- 25.4.12外				
本庁執行分計									1,438,272	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									1,438,272	

予算科目(予防費)

① 国 補 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
							補助率及び 補助金額	概算払 精算払 の別		支出 年月日
感染症指定医療機関運 営費補助金 (平成11年度)	鳥取県病院 管理者 外1		15,123,772	-	-	-	概算	25.2.8	14,486,000	
各指定医療機関の運営 に必要な経費についての 補助			(補助率:10/10う ち国1/2、県1/2) 14,486,000	24.4.23	-	-				
予防接種事故対策負担 金 (平成14年度)	鳥取市外2 市町		12,855,400	-	-	-	概算	25.1.25	9,640,690	
予防接種被害者への医 療費・医療手当・障害年 金の給付及び事故調査 委員会の開催			(補助率:3/4) 9,640,690	24.12.10	-	-				
鳥取県ワクチン接種緊急 促進補助金 (平成22年度)	19市町村		547,738,141	-	-	25.5.10	精算	25.5.17	246,417,000	
子宮頸がん予防ワクチン 接種費用等の減免を行う 市町村への助成			(補助率:1/2) 246,417,000	24.9.7外 24.9.25	- 25.4.24外	- 25.4.24外				
鳥取県地域医療再生基 金事業補助金(感染症病 症整備費) (平成23年度)	鳥取大学医 学部附属病 院		56,610,000		24.12.3	25.4.8				
西部医療圏域の感染症 対策の充実及び県全体 の感染症医療の向上の ため施設整備の一部を補 助			(補助率:1/2) 28,305,000	24.10.31 24.11.22	25.3.11 24.3.28	- 25.3.18	精算	25.4.16	28,305,000	
本庁執行分計									298,848,690	
出納機関執行分計									0	
国 補 分 計									298,848,690	

② 単 県 分

該当無し

予算科目（特定疾患対策費）

（単位：円）

① 国 補 分

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
難病患者等居宅生活支 援事業費補助金 (平成18年度)	鳥取市外11 市町		50,209,970	-	-	-	概算	25.2.1	3,943,000	
市町村が行う居宅生活支 援事業への補助			(補助率:3/4 うち国1/2、県1/4)	24.9.27外	-	-				
				3,943,000	25.1.23	25.4.1外				
本庁執行分計									3,943,000	
出納機関執行分計									0	
国 補 分 計									3,943,000	

② 単 県 分 該当なし

予算科目 (健康県づくり推進費)

① 国 補 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日		金 額
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取のちの電話支援 事業費補助金 (平成13年度)	(社福)鳥取 いのちの電 話		3,552,472	-	-	25.5.1	概算	24.5.30	3,700,000	
相談員の養成、資質向上 及び無料通話への取組 への支援			(補助率:定額)	24.4.17	-	-	精算	25.5.20	▲ 285,528	
			3,414,472	24.5.23	25.4.16	25.4.23		計	3,414,472	
鳥取県自死遺族支援団 体に対する補助金 (21年度)	自死遺族自 助グループ コスモスの 会		1,039,364	-	-	25.5.21	概算	24.6.6	938,000	
自死遺族支援団体を支 援し、分かち合いの場 の運営や人材養成に助成 することにより、活動の定 着や自助グループの自 立を図る			(補助率:4/5、 10/10)	24.4.12	-	-	精算	25.5.28	▲ 139	
			937,861	24.5.23	25.5.20	25.5.17		計	937,861	
鳥取県市町村自殺対策 緊急強化交付金 (21年度)	鳥取市 外16市町		11,724,095	24.3.30	-	25.5.21	精算	24.5.21	11,724,095	
自殺することを考えてい る者の個々の悩みに応じ たきめ細かな相談支援等 を行うため、市町村が自 ら事業を実施したり、民間 団体への委託、補助又は 助成により事業を実施す ることにより、地域におけ る自殺対策を促進するこ とを図る			(補助率:定額)	24.4.13外	-	-				
			11,724,095	24.5.22外	25.4.18外	25.5.7外				
本庁執行分計									16,076,428	
出納機関執行分計									0	
国 補 分 計									16,076,428	

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況		備考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算払 精算払 の別	支 出 年月日		金 額
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県「食の応援団」支 援事業費補助金 (平成11年度)	鳥取県食生 活改善推進 員連絡協議 会		2,253,000	-	-	25.5.9	概算	24.5.1	573,000	県民のより 一層の生活 習慣改善を 図り、健康 寿命の延伸 を推進する 必要がある。 。
食生活改善講習会、教育 研修、組織強化事業への 助成			(補助率:定額)	24.3.21	-	-	概算	24.7.6	560,000	
			2,253,000	25.4.2	25.4.15	25.4.16	概算	24.11.9	560,000	
			2,253,000	25.4.2	25.4.15	25.4.16	概算	25.1.10	560,000	
							計	2,253,000		
鳥取県「食の応援団」支 援事業費補助金 (平成11年度)	(社)鳥取県 栄養士会		2,790,000	-	-	25.5.15	概算	24.5.1	700,000	県民のより 一層の生活 習慣改善を 図り、健康 寿命の延伸 を推進する 必要がある。 。
栄養教室、食育教室の開 催や加工食品栄養成分 表示推進事業への助成			(補助率:定額)	24.4.1	-	-	概算	24.7.6	700,000	
			2,788,420	24.4.17	25.4.15	25.4.26	概算	24.11.9	700,000	
			2,788,420	24.4.17	25.4.15	25.4.26	精算	25.1.10	690,000	
							計	2,788,420	▲ 1,580	

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	レークサイド ノルディック ウォーク 実行委員会		233,480	-	-	24.11.27	精算	24.12.4	116,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2)	116,000	24.4.15	-	-				24.5.1
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	全日本ノル ディック・ ウォーク連 盟鳥取県東 部推進委員 会		505,000	-	-	24.8.27	概算	24.6.11	250,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2)	250,000	24.4.15	-	-				24.5.10
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	城下町鹿野 そばの花 ウォーク実 行委員会		43,215	-	-	24.11.7	概算	24.7.13	90,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(拡充)		(補助率:1/2)	21,000	24.6.6	-	-				24.6.25
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	境港さか な・妖怪 ウォーク実 行委員会		38,742	-	-	24.12.4	精算	24.12.25	19,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(拡充)		(補助率:1/2)	19,000	24.8.1	-	-				24.8.17
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	全日本ノル ディック・ ウォーク連 盟鳥取県西 部推進委員 会		289,250	-	-	24.11.14	精算	24.11.27	100,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2)	100,000	24.7.19	-	-				24.8.17
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	鳥取いなば ライオンズ クラブ		594,990	-	-	24.11.21	精算	24.12.4	250,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2)	250,000	24.9.14	-	-				24.10.9
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	特定非営利 活動法人未 来		409,470	-	-	24.12.4	精算	24.12.14	150,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2)	150,000	24.9.14	-	-				24.10.9
鳥取県ウォーキング立県 推進事業補助金 (平成22年度)	全日本ノル ディック・ ウォーク連 盟鳥取県西 部推進委員 会		225,000	-	-	25.2.13	精算	25.2.22	100,000	
ウォーキング大会の開催 経費に補助(新規)		(補助率:1/2)	100,000	24.12.14	-	-				24.12.19
本庁執行分計									6,047,420	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									6,047,420	

予算科目 (生活習慣病予防対策費)

(単位:円)

① 国 補 分

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認又は内示年月日		着手年月日		額の確定年月日		支出の状況		備考
				交付申請年月日	完了年月日	検査年月日	概算払 精算払 の別	支出年月日	金額			
事業の内容			補助率及び補助金額	交付決定年月日	実績報告年月日	審査・現地調査年月日						
鳥取県がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金 (平成20年度)	県立中央病院 外2病院		48,893,000	-	-	-	概算	25.2.12	48,893,000			
拠点病院が実施する次の事業を財政支援する。 ①研修への派遣・実施 ②連携協議会の設置・開催 ③院内がん登録の促進 ④患者等への相談支援 ⑤普及啓発・情報提供			(補助率:10/10 うち国1/2、県1/2) 48,893,000	24.11.6外	-	-						25.1.31
鳥取県休日がん検診実施支援補助金 (平成21年度)	鳥取市外 17市町村	○	4,540,000	-	-	-	概算	25.1.30	3,025,000			
市町村が実施する休日がん検診についてその経費の一部を補助			(補助率:2/3) 3,025,000	24.10.2外	-	-						25.1.23
がん専門医療従事者育成支援負担金 (平成22年度)	県立厚生病院 外3病院		2,652,000	-	-	-	概算	25.2.25	2,551,000			
がん診療連携拠点病院が、医師以外のがん専門医療従事者の育成に要する経費の一部を補助			(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2) 2,551,000	24.10.26外	-	-						25.2.5
がん専門医資格取得支援負担金 (平成23年度)	県立中央病院 外5病院		729,530	-	-	-	概算 概算	25.2.12 25.3.21	481,000			
県内病院が、医師の資格取得に要する経費の一部を補助			(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2) 481,000 372,000	(24.10.23外) 25.2.25外 (25.1.23) 25.3.11	-	-						25.2.5外 25.3.11
鳥取県院内がん登録拡大支援事業補助金 (平成23年度)	赤十字病院 外4病院		12,786,000	-	-	25.5.21	精算	25.5.29	9,578,000			
院内がん登録に新たに取組む県内医療機関(がん診療連携拠点病院以外)に対し必要な経費を補助			(補助率:10/10 地域医療再生基金) 12,786,000	24.5.10外	-	-						24.6.15
健康増進事業費補助金 (平成20年度)	鳥取市外 18市町村		57,890,179	-	-	-	概算	25.2.1	40,686,000			
市町村が実施する健康増進事業についてその経費の一部を補助			(補助率:2/3うち 国1/2、県1/2) 40,686,000	24.8.30外	-	-						25.1.23
本庁執行分計									105,586,000			
出納機関執行分計												
国 補 分 計									105,586,000			

② 単 県 分

(単位:円)

補助金等の名称 (補助金等の創設年度)	交付先	間 接	補助対象経費 補助率及び 補助金額	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備 考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検 査 年月日	概算 精算 の別	支 出 年月日	(支出年月日) 金 額	
				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審 査・現 地 調査年月日				
鳥取県健康対策協議会 事務局強化対策費負担金 (平成4年度)	鳥取県健康 対策協議会		3,616,000	-	24.4.1	25.5.15	概算 概算	24.10.12 25.1.15	2,837,000 779,000	
(補助率:定額)			24.3.28	25.3.31	25.4.23					
			3,616,000	24.4.6	25.4.19	25.4.23	計	3,616,000		
鳥取県健康対策協議会の活動・発展を図るため、事務局経費の一部を負担し、同会の事務局機能の強化を図った。										
平成24年度鳥取県がん検診受診率50%超チャレンジ支援事業費補助金 (平成24年度)	鳥取市外2 町		2,110,709	-	-	25.5.7	精算	25.5.21 外	1,050,000	
がん検診受診率50%達成を目指して新たな取り組みを行う市町村に助成			(補助率:1/2)	24.7.20	-	-				
			1,050,000	24.7.26	25.4.4外	25.4.26				
鳥取県大腸がん検診特別推進支援補助金 (平成23年度)	鳥取市外5 市町		1,143,660	-	-	25.5.15	精算	25.5.22	439,000	
市町村が実施する大腸がん検診についてその経費の一部を補助			(補助率:1/2)	24.6.15外	-	-				
			569,000	24.7.6	25.4.4外	25.5.9外				
平成24年度鳥取県国民健康保険特定健康診査・保健指導費負担金 (平成20年度)	鳥取市外1 8市町村		188,561,970	-	-	-	概算	24.7.25	62,845,000	
市町村の実施する特定健康診査等の事業への負担金			(補助率:1/3)	24.6.8 外	-	-				
			62,845,000	24.6.26	25.4.19外	-				
平成23年度鳥取県国民健康保険特定健康診査・保健指導費負担金 (平成20年度)	米子市外3 町		17,449,000	-	-	25.3.11	精算	25.3.19	329,000	H23年度交付決定に係る増額分。
市町村の実施する特定健康診査等の事業への負担金			(補助率:1/3)	23.6.9外	-	-				
			329,000	23.7.11	24.4.20外	24.4.20				
鳥取県8020運動推進事業費補助金 (平成19年度)	(社)鳥取県 歯科医師会		417,573	-	-	24.11.21	精算	24.1.20	100,000	
8020運動の普及啓発、具体的施策を支援するための助成			(補助率:定額)	24.8.10	24.10.4	-				
			100,000	24.8.24	24.11.12	24.11.19				
本庁執行分計									68,379,000	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									68,379,000	

(2-2)補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)

該当なし

(3)交付金

該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 別の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約期間			支出区分	支出 年月日	金額	
					(契約年月日) 変更契約(最終)	契約期間					
公衆衛生総務費	国委	平成24年度国民健康・栄養調査に係る血液検査委託料	(株)エスアールエル	1,950円/件	24.10.23 ~ 24.12.28	24.10.23 (免除)	24.12.28	精算 精算	24.12.25 25.1.15	462,735 104,422	
予定価格が20万円未満のもの						随	25.1.7			0	
本庁執行分計										567,157	
出納機関執行分計										0	
目計										567,157	
結核対策費											
予定価格が20万円未満のもの											
本庁執行分計										116,306	
出納機関執行分計										116,306	
目計										7,649,301 7,765,607	東・中・西福祉保健局
予防費	国補	平成24年度保健所HIV・性感染症検査等に係る検体検査委託料	(株)ファルコバイオシステムズ	4,170,075	24.4.1 ~ 25.3.31	24.3.21 (免除)	25.3.31	精算	24.5.18 外	1,982,064	
予定価格が20万円未満のもの						一般	25.4.8			0	
本庁執行分計										1,982,064	
出納機関執行分計										0	
目計										1,982,064	

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考		
				予定価格	(契約年月日) 契約金額	契約期間		入札等年月 日 (契約保金納 付等年月日)	支出区分	支出 年月日		金額	
精神衛生費					()	~	()						
予定価格が20 万円未満のも 本庁執行分計					()	~	()				0		
出納機関執行 分計					()	~	()				0		
					()	~	()				1,920,124	福祉相談センター	
					()	~	()				1,920,124		
					(24.4.1)	24.4.1	(免除)				6,053,000	難病患者等からの相談に 応じるなど業務に特殊性、専 門性があり、事業を円滑に 運営するため。	
	国補	重症難病患者 入院施設確保 事業委託料	国立大学 法人鳥取 大学	()	6,053,000	24.4.1 ~ 25.3.31	(免除)			概算	24.5.23 外	6,053,000	
				()	()	~	随						
				(24.4.1)	5,629,000	24.4.1 ~ 25.3.31	(免除)				24.5.23 外	5,629,000	難病患者等からの各種相 談に応じる専門知識及び整 備された関連施設が必要な ため。
	国補	難病相談・支 援センター委 託料	国立大学 法人鳥取 大学	()	5,629,000	24.4.1 ~ 25.3.31	(免除)				24.5.13 外	5,629,000	
				()	()	~	随						
				(49.10.31外) @111.60外	-	24.4.1 ~ 25.3.31	(免除)				24.5.9 外	5,069,484	厚生労働省通知により、委 託先が定められているた め。契約は年次自動更新。
	単県	特定疾患・血 液疾患医療費 審査支払事務 委託料	国民健康 保険団 体連合会 外1	()	-	24.4.1 ~ 25.3.31	(免除)			精算	24.5.9 外	5,069,484	
				()	()	~	随						
				(24.4.1)	252,000	24.4.1 ~ 25.3.31	24.3.23 (免除)				精算	25.4.24	252,000
				()	()	~	随						
	単県	医療費支払情 報管理委託料	アイビー システム (株)	()	252,000	24.4.1 ~ 25.3.31	24.3.23 (免除)				25.3.31 25.4.16	252,000	
				()	()	~	随						
予定価格が20 万円未満のも 本庁執行分計					()	~	()				0		
出納機関執行 分計					()	~	()				17,003,484		
					()	~	()				7,110,398	東部福祉保健局、中部福祉 保健局、西部福祉保健局	
					()	~	()				24,113,882		

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	契約年月日 (契約額)	契約期間		支出区分	支出 年月日	金額		
												変更契約(最終) (契約年月日)
健康づくり推進費	国補	とっとりひきこもり生活 支援センター事業委託 アサポート	特定非営利 活動法人鳥 取青少年ピ アサポート	6,843,000	(24.4.1) 6,843,000	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31 25.5.7	概算	24.4.24 24.7.25 24.10.15 25.1.29 25.5.24 計	1,711,000 1,711,000 1,710,000 1,027,495 5,815,505		
				780,000	(24.6.6) 780,000	24.6.6 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.10 外	精算 外	25.4.24 外	773,244		
	基金		かかりつけ医と精神科 医との連絡会議委託	(社)鳥取県 医師会	457,000	(24.5.25) 457,000	24.5.25 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.9	精算	25.4.24	267,692	
	基金		精神医療関係者研修	(社)鳥取県 医師会	760,000	(24.9.12) 760,000	24.9.12 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.9	精算	25.4.23	760,000	
	基金		自殺予防啓発に係る 広告掲載業務	広告代理店 ハチカル 外1	1,736,280	(24.4.1) 1,736,280	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.9	概算 精算	24.4.13 外	1,736,280	
	基金		「みんなで支えあう地 域づくりフォーラム」会 場制作・運営業務	(株)ウェブ プラン・プロ モーション	969,150	(24.7.31) 787,500	24.7.31 ~ 24.10.27	24.10.27 23.11.6	精算	24.11.13	787,500	
	国補		糖尿病予防対策連携 強化事業委託	社団法人鳥取 県医師会	2,698,000	(24.5.18) 2,698,000	24.5.18 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.18	精算	25.5.7	1,800,000	県内医師の協力を取り付 けて全体的に事業を実施 していくことができる団体 が他にないため。

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等年月 日 (契約保金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約期間				支出区分	支出 年月日	金額	
					変更契約(最終) (契約年月日) 契約期間	契約期間						
健康づくり推進 費	単県	「健康づくり文化推進 事業」業務実施委託	株式会社よみ うり企画	2,273,000	(24.4.11) 2,272,200	24.4.11 ~ 25.3.31	24.4.10 (免除)	24.12.29	概算 精算	24.10.9 25.2.13 計	1,136,100 1,136,100 2,272,200	前年度のプロポーザルで 採用された企画提案の内 容に沿って引き続き事業 を実施するため。
	単県	とっとり健康家族ポー タルサイト構築・保守 運営業務委託	アイコンヤマト 株式会社	3,184,000	(24.12.3) 3,171,000	24.12.3 ~ 25.3.31	24.11.30 (免除)	25.3.31	精算	25.4.16	3,171,000	新規 プロポーザルにより業者 を決定したため。
	単県	鳥取県ケータイで健康 づくりウオーキングシ ステム保守管理業務 委託	富士通株式会社 社鳥取支店	2,708,000	(24.4.1) 2,707,740	24.4.1 ~ 25.3.31	24.3.30 (免除)	25.3.31	精算	25.4.16	2,707,740	新規 システムを構築した者しか 保守管理ができないた め。
	単県	「ウオーキング立県19 のまちを歩こう事業」 及び「ケータイで健康 づくりウオーキング推 進事業」実施業務委	「ウオーキング 立県19のまち を歩こう」実行 委員会	6,663,000	(24.4.2) 6,663,000	24.4.2 ~ 25.3.31	(免除)	25.3.31	概算 戻入	24.4.23 25.5.15 計	6,663,000 △ 343,371 6,319,629	意志決定機関と実施機関 がどちらとも実行委員会 であり、他に実施できる団 体がないため。
予定価格が20万 円未満のもの											0	
本庁執行分計											26,410,790	
出納機関執行分 計											241,225	東部、西部福祉保健局 (自殺対策)
目計											26,652,015	

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約 の相手方	予定価格	当初契約		入口等年月日 (契約保証金納付等 年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考
					契約年月日 (契約額)	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
生活習慣病予防対策費	国補	むし歯予防フッ化物洗口事業委託	(社)鳥取県歯科医師会		(24.5.14) 4,192,000 (25.3.1)	24.5.14 ~ 25.3.31	契約形態 (免除)	24.3.31 24.4.26	精算	25.5.22	1,994,630	歯科医療に関し専門的技術、知識を有しているため
	国補	歯の衛生週間事業委託料	(社)鳥取県歯科医師会	290,000	(24.4.26) 290,000	24.4.26 ~ 24.6.30	(免除)	24.6.28 24.7.6	精算	24.7.24	290,000	
	単県	子どもの口腔機能向上のための歯科医師対応力向上研修委託	(社)鳥取県歯科医師会	648,000	(24.5.30) 648,000	24.5.30 ~ 25.3.31	(免除)	25.3.31 24.4.26	精算	25.5.22	607,503	
	国補	鳥取県内がん登録情報センター運営に係る委託契約	国立大学 法人鳥取大学	11,526,000	(24.4.1) 11,526,000	24.4.1 ~ 25.3.31	(免除)	25.3.31 24.5.13	精算	25.5.28	10,201,215	
	国補	鳥取県がん診療連携会議放射線治療部会の運営に係る委託契約	国立大学 法人鳥取大学	473,000	(24.8.22) 473,000	24.8.22 ~ 25.3.31	(免除)	25.3.31 24.5.14	精算	25.5.28	151,780	
	単県	県民健康対策調査研究事業委託料	県健康対策協議会	15,675,000	(24.4.1) 15,675,000	24.4.1 ~ 25.3.31	24.3.27 (免除)	25.3.31 25.4.30	概算	24.7.5 24.7.18 24.10.15 25.1.15 戻入25.5.15 計	6,154,000 2,925,000 3,706,000 2,890,000 △1,343,890 14,331,110	事業開始時からの情報蓄積があり、個人情報取扱うため。
	単県	健康政策事業に係る新聞広告掲載業務(委託料部分)	(株)新日本海新聞社	1,905,750	(24.9.27) 1,905,750	24.9.27 ~ 25.3.27	24.9.24 (免除)	24.10.3 外	精算	24.11.15	1,905,750	新聞広告の掲載のため
	国補	がん検診受診率向上総合発業務	(株)シセイ堂デザイン	6,464,325	(24.9.26) 6,226,133	24.9.26 ~ 24.11.30	24.9.25 (免除)	24.11.5	精算	24.11.26	6,226,133	テレビCM・新聞広告・ポスター等の内容について、昨年度本事業で使用した映像等を再使用することとしたため、映像等の使用について著作権を有する者と契約を締結するもの
	国補	乳がん啓発冊子製作業務	株式会社ラ・コミック	480,000	(25.1.11) 380,100	25.1.11 ~ 25.3.25	25.1.9 (免除)	24.11.7 25.3.25	精算	25.4.1	380,100	新規

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約 の 相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日)			支出 区分	支出 年月日	金額		
					契約額	契約期間						
生活習慣病予防対策費	単	元中部健康増進センターの機械整備委託料	(株)ALS OK山陰	202,000	(24.4.1)	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31	精算	24.5.11 外	201,600		
					()	~						
					(24.4.1)	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31	前金	203,679			
	単	元中部健康増進センターの自家電気工作物保安管理委託料	(財)中国電気保安協会	203,679	(24.4.1)	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31	精算	23.4.18	203,679		
					()	~						
					(24.4.1)	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31	前金	203,679			
	国補	乳がんピンクリボン映画祭会場設営・運営業務	(株)ウエブプラン・プロモーション	2,131,500	(24.9.28)	24.9.28 ~ 24.10.13	24.10.13	精算	24.11.6	1,732,500	新規	
					(24.10.11)	~						
					(24.10.31)	24.10.31 ~ 24.11.30	24.11.22	精算	474,600			
	国補	乳がん検診・自己触診啓発に係る新聞広告掲載業務	(株)新日本海新聞社	474,600	(24.10.31)	24.10.31 ~ 24.11.30	24.11.22	精算	24.12.12	474,600		
					()	~						
					(24.10.4)	24.10.4 ~ 24.10.31	24.10.31	精算	525,000			
国補	大腸がん検診受診勧奨CM放送業務委託	山陰中央テレビジョン放送株式会社	525,000	(24.10.4)	24.10.4 ~ 24.10.31	24.10.31	精算	24.11.19	525,000	新規		
				()	~							
				(24.10.4)	24.10.4 ~ 24.10.31	24.10.31	精算	525,000				
国補	レディースがん検診推進事業	株式会社山陰放送	525,000	(24.10.4)	24.10.4 ~ 24.10.31	24.10.31	精算	24.11.19	525,000	新規		
				()	~							
				(24.10.4)	24.10.4 ~ 24.10.31	24.10.31	精算	525,000				
国補	レディースがん検診推進事業	財団法人鳥取県保健事業団	202,000	(24.6.18)	24.6.18 ~ 25.3.31	24.6.15	精算	25.4.16	201,600			
				()	~							
				(24.6.18)	24.6.18 ~ 25.3.31	24.3.28	精算	521,638				

(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約 の 相手方	当初契約			完了 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日)			支出 年月日	金額		
					変更契約(最終)	契約期間					
生活習慣病予防対策費	国補	出張がん予防教室用(一般用)教材の取寄せ業務	株式会社 ラ・コミュニケーション	1,161,300	(24.12.13)	24.12.13 ~ 25.2.12	25.2.12	精算	25.2.19	499,800	新規
							25.2.12				
	国補	肝臓がん検診従事者講習会の開催等に関する事業委託	県健康対策協議会	287,000	(24.4.16)	24.4.16 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.30	精算	24.7.13 24.10.15	45,000 242,000	
							25.3.31				
	国補	保健所肝炎ウイルス健診に係る検体検査業務	(株)フア ルコバイオ オシステ ムス	307,692	(24.4.1)	24.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.8	精算	24.5.22 外	202,776	
							25.3.31				
	国補	肝炎治療特別促進事業審査支払事務委託料	県国民健康保険団体連合会 外1	-	(20.4.25)	20.4.1 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.10	精算	24.4.19 外	549,153	厚生労働省の通知により、委託先が指定されているため
							25.3.31				
	国補	がん検診受診率50%超チャレンジ支援事業業務委託	(株)キャ ンサーズ キャン	2,100,000	(24.7.13)	24.7.13 ~ 25.3.31	25.3.31 25.4.26 外	精算	25.5.16 外	1,768,733	新規 事業に契約相手方の手法を活用するため
							25.4.26				
予定価格が20万円未満のもの									848,559		
本庁執行分計									44,953,259		
出納機関執行分計									1,248,869		
目計									46,202,128		

(4-2)委託料(他課から予算の配当替えをうけて執行したもの)

(単位:円)

予算科目 (目)	国 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相手方	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完 了 年 月 日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支 出 区 分	支 出 日	金 額	
母子保健費		県民健康対 策調査研究 事業委託料	県健康対 策協議会	(24.4.1) 375,000	24.4.1 ~ 25.3.31	24.3.27 (免除)	25.3.31	概算	24.7.5	275,000	事業開始時からの情 報蓄積があり、個人情 報を扱うため。	
予定価格が20万円未満のもの	単 県			()	~	随	25.4.30	概算	24.10.15	100,000		
本庁執行分計										0		
出納機関執行分計										375,000		
目 計										0		
										375,000		

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ
 (1) 公有財産
 了 土地

(平成25年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
														増加
普通財産	鳥取県立東部健康増進センター (いなばじ) 鳥取県(財)鳥取県健康増進センター 鳥取県立東部健康増進センター 鳥取県立東部健康増進センター	鳥取市松原	5,155.76	不明	増加						5,155.76	不明		
			3,379.00	不明	増加						3,379.00	不明		
			117,327.54	不明	増加							117,327.54	不明	未利用財産有り
			19,456.37	不明	増加							19,456.37	不明	未利用財産有り
計			145,318.67							145,318.67				
合計			145,318.67							145,318.67				

イ 建物

(平成25年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (m ²)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (m ²)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (m ²)	価額 (円)		
行政財産	鳥取県立精神保健福祉センター	鳥取市江津	1,013.41	208,485,849	増加						1,013.41	208,485,849		
計			1,013.41	208,485,849							1,013.41	208,485,849		
普通財産	鳥取県立東部健康増進センター	鳥取市松原	2,583.54	436,555,403	増加						2,583.54	436,555,403		未利用財産あり
	鳥取県立中部健康増進センター	東伯郡湯梨浜町	3,035.39	741,698,538	増加						3,035.39	741,698,538		未利用財産あり
計			5,618.93	1,178,253,941							5,618.93	1,178,253,941		
合計			6,632.34	1,386,739,790							6,632.34	1,386,739,790		

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

カ 不動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

キ 物 権 該当なし

ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

ケ 有価証券 該当なし

コ 出資による権利

(平成25年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出えん金	円 200,000	円 -	円 -	円 200,000	財団法人 鳥取県保健事業団	
合 計	200,000	-	-	200,000		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成25年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類	円 17,210	円 236,760	円 221,180	円 32,790	
収入印紙	-	-	-	-	
収入証紙	-	-	-	-	
タクシークーポン券	-	-	-	-	
鉄道バスプリペイドカード	-	-	-	-	
合 計	17,210	236,760	221,180	32,790	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成25年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
48枚	60枚	43枚 39,530円	65枚

(3) 基金

(鳥取県自殺対策緊急強化基金)

(平成25年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
(内閣府) 現金	(85,491,226)円 129,446,495	(29,272,861)円 29,272,861	(42,665,269)円 43,955,269	(72,098,818)円 114,764,087	5月31日取崩し
(厚労省) 現金	(4,168,049)円 5,070,000	(2,215)円 2,215	(4,170,264)円 5,072,215	(0)円 0	10月31日取崩し
合 計	(89,659,275)円 134,516,495	(29,275,076)円 29,275,076	(46,835,533)円 49,027,484	(72,098,818)円 114,764,087	

(鳥取県ワクチン接種緊急促進基金)

(平成25年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
現金	(358,833,819)円 702,790,819	(859,799)円 859,799	(246,417,000)円 343,957,000	(113,276,618)円 359,693,618	5月27日取崩し
合 計	(358,833,819)円 702,790,819	(859,799)円 859,799	(246,417,000)円 343,957,000	(113,276,618)円 359,693,618	

(4) 債 権

(平成25年3月31日現在)

債権の名称	前年度末		本年度中				本年度末		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
鳥取県保健事業 団総合保健セン ター用地貸付	円 68,165,690	1	円 0	0	円 6,816,569	0	円 61,349,121	1	
旧中部健康増進 センター貸付料	7,698,738	2	0	0	3,422,596	0	4,276,142	2	
旧中部健康増進 センター配電線 用地貸付料	85,500	1	0	0	28,500	0	57,000	1	
「ウェルネス・ イン因幡路」用 地	125,052,950	1	0	0	5,002,118	0	120,050,832	1	
合 計	201,002,878	5	0	0	15,269,783	0	185,733,095	5	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 (行政財産なし)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	電力供給のための配電線施設設置	東伯郡湯梨浜町南谷	電柱9本 支線5条 支柱3本 管路1.52㎡ 支柱1本	22.4.1	57.7.15 59.12.10 3.9.10 11.4.1 17.4.1 20.7.25	22.4.1 ~ 27.3.31	28,500円	28,500円	倉吉市駄経寺町245-6 中国電力(株)倉吉営業所	元中部健康増進センター用地
				22.9.1 22.8.30	12.4.1 22.9.1 22.8.30	22.9.1 ~ 27.3.31	58,780円 85,461円	烏取市富安二丁目94番4 (財)鳥取県保健事業団	"	
				19.3.26	19.3.26	19.3.26 ~ 49.3.25	5,002,118円	神奈川県横浜市中区山下町24番地605(株)シンリョウ	会社分割による契約書名義変更	
				4.7.2	4.7.2	4.7.2 ~ 34.3.31	6,816,569円	烏取市富安二丁目94番4 (財)鳥取県保健事業団		
計							11,991,428円			
合計							11,991,428円			

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
普通財産	(財)鳥取県保健事業団中部支部として	東伯郡湯梨浜町南谷	195.04㎡	24.4.1	22.8.30	22.8.30 ~ 27.3.31	1,993,830円	1,993,830円	烏取市富安二丁目94番4 (財)鳥取県保健事業団	元中部健康増進センター
計							1,993,830円			
合計							1,993,830円			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		住所	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
心電図自動装置	1	フクダ電子(株) FCP-3201	22.2.1 ~ 25.3.31	単価 無料	0円	鳥取市富安二丁目94番4号(財)鳥取県保健事業団	鳥取県保健事業団	旧東部健康増進センターの物品の有効利用を図るため	
心電図自動装置	1	フクダ電子(株) FCP-3201	"	単価 無料	0円	"	"	旧中部健康増進センターの物品の有効利用を図るため	
能機ヤ心付6ネルン電計	1	日本光電子工業(株) カルディオファックス VECG-8310	"	単価 無料	0円	鳥取市富安二丁目94番4号(財)鳥取県保健事業団	鳥取県保健事業団	旧西部健康増進センターの物品の有効利用を図るため	
簡易型陰圧空気清浄機	2	米国ENVJRCO社製 カード・アイソクリーン	24.4.1 ~ 27.3.31	単価 無料	0円	境港市米川町44号鳥取県済生会境港総合病院	済生会境港総合病院	第二種感染症指定医療機関としての機能を高めるため	
"	1	"	"	単価 無料	0円	倉吉市東昭和町150号鳥取県立厚生病院	鳥取県立厚生病院	"	
"	3	"	"	単価 無料	0円	鳥取市江津730号鳥取県立中央病院	鳥取県立中央病院	"	
合計					0円				

- 2 1 借受不動産明細調べ 該当なし
- 2 2 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 2 3 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 2 4 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 2 5 備品の処分状況調べ 該当なし

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格	不 用 決 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分				備考
							売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売払額・ 処分費用	
椅子	1	(H19. 6. 29) H10. 3. 19	15	円 30, 135	H24. 8. 28	使用不能	棄却	使用不能	H24. 8. 28	円	
衛星携帯電話	1	(H17. 3. 16) H13. 12. 28	6	308, 175	H24. 12. 28	使用不能	棄却	使用不能	H24. 12. 28		
屋外設置用外 部アンテナ	1	(H17. 3. 16) H13. 12. 28	5	183, 750	H24. 12. 28	使用不能	棄却	使用不能	H24. 12. 28		
合 計	3			522, 060						0	

- 2 6 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし
- 2 7 貸付金等状況調べ 該当なし
- 意見・要望等 なし